

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、本要項に記載する試験実施日程、
選抜方法等をやむを得ず変更する場合があります。
変更する場合は、本学ホームページ等でお知らせいたしますのでご留意願います。

令和5年度

(2023年度)

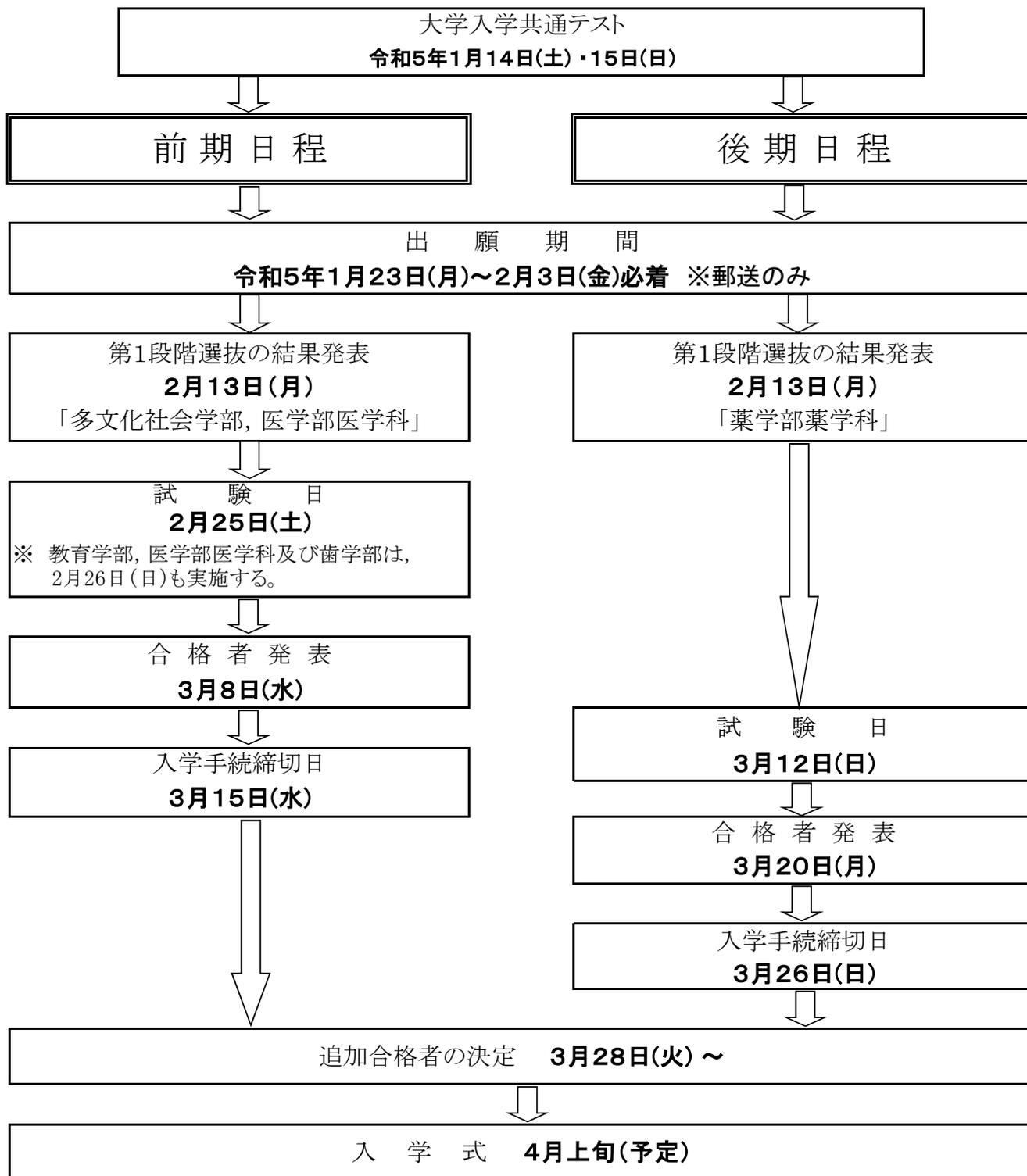
学生募集要項

(一般選抜)



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

令和5年度 長崎大学一般選抜日程の概要



- ※ 試験当日は、「長崎大学入学試験受験票」、「大学入学共通テスト受験票」及び「健康状態確認シート」を必ず持参してください。
- ※ 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、本学ホームページでお知らせします(長崎大学ホームページアドレス <https://www.nagasaki-u.ac.jp>)。
- ※ 新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由から試験を受験できない場合は、追試験を実施します。詳細は59ページ「22.追試験」を参照してください。

目 次

令和5年度一般選抜の主な変更点	4
新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮等について	7
新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について	8
健康状態確認シート	9
1. アドミッション・ポリシー	10
2. 入学者選抜方式及び実施日程	24
3. 募集人員	25
*志望についての注意事項	26
4. 出願資格	26
5. 出願手続	27
6. 総合型選抜・学校推薦型選抜に出願した者への注意事項	31
7. 個別の入学資格審査	32
8. 障がい等のある入学志願者との事前相談	33
9. 長崎大学入学時給付奨学金	34
10. 受験票の印刷等	35
*第1段階選抜の結果発表	35
11. 入学者選抜方法	36
12. 学力検査の実施教科・科目等及び配点	38
*教科・科目名の表記方法について	46
*大学入学共通テストの理科について	46
*「学力検査等の実施教科・科目等及び配点」に関する注意事項について	47
13. 個別学力検査の出題範囲	48
14. 個別学力検査等における実技検査の内容	48
15. 前期日程の試験日時及び試験場	49
16. 後期日程の試験日時及び試験場	52
*各試験場の案内略図	54
17. 受験に際しての注意事項	55
18. 不正行為について	56
19. 合格者発表	57
20. 入学手続等	57
21. 追加合格等	58
22. 追試験	59
23. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）	61
24. 長期履修制度	62
25. 個人情報取扱	63
26. 安全保障輸出管理について	63
27. 入試情報提供	
(1) 個人成績	63
(2) 正解・解答例等	64
(3) 採点・評価基準	65
(4) 合否判定基準	68
(5) 出願状況等の案内	70
(6) 前年の一般選抜状況	71
28. パソコン必携制度のご案内	72
29. 出願書類作成要領（前期日程・後期日程）	73
*大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（前期日程）	75
*大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（後期日程）	76

【 添付書類（77ページ～80ページ） 】

○出願に必要な書類

活動報告書（調査書が提出できない志願者のみ）

志願調書（医学部医学科及び歯学部志願者のみ）

令和5年度一般選抜の主な変更点

I 医学部保健学科及び情報データ科学部の募集人員増について（文部科学省と協議中）

（以下の内容は、概算要求事項のため、変更の可能性があります。なお、決定次第本学ホームページ（入試情報サイト）で公表いたします。）

【医学部保健学科】

医学部保健学科において、募集人員を次のとおり変更します。

入試区分	専攻	令和5年度	令和4年度
		募集人員	募集人員
一般選抜（前期日程）	理学療法学専攻	<u>24</u>	<u>15</u>

【情報データ科学部】

情報データ科学部において、募集人員を次のとおり変更します。

入試区分	令和5年度	令和4年度
	募集人員	募集人員
一般選抜（前期日程）	<u>75</u>	<u>70</u>

II その他の変更点について

前述 I 以外の主な変更点は以下のとおりです。

【多文化社会学部】

募集人員の変更

一般選抜（後期日程）（募集人員10人）を廃止します。

【教育学部】

募集人員の変更

中学校教育コース理系において、一般選抜（前期日程）の募集人員を次のとおり変更します。

<令和4年度>

コース名	一般選抜（前期日程）
中学校教育コース理系	<u>16人</u>



<令和5年度>

コース名	一般選抜（前期日程）
中学校教育コース理系	<u>14人</u>

【経済学部】

(1) 選抜方法の変更

一般選抜（前期日程）において、「配点A」及び「配点B」の2つの配点方式で選抜していたものを廃止し、配点a及び配点bの配点方式で選抜します。

<令和4年度>

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	ペーパー・インタビュー	調査書	配点合計
共通テスト	配点a	100	*100		100	50	100			450
	配点b	100	*50		100	100	100			450
個別学力検査等 (注1)	配点c				150		150	5	15	320
	配点d				200		100			
計	配点A (注2)	配点a-c	100	*100	250	50	250	5	15	770
		配点b-c		*50		100				
	配点B (注2)	配点a-d	100	*100	300	50	200			
			200	300	300					
		配点b-d	100	*50	300	100	200			
			200	200	300					

○ 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

(注1) 配点cについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のそれぞれの得点を1.5倍し、合計を300点満点とする。
配点dについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のうちいずれか高得点の教科の得点を2倍し、合計を300点満点とする。

(注2) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。



<令和5年度>

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	ペーパー・インタビュー	調査書	配点合計
共通テスト	配点a	100	*100		100	50	100			450
	配点b	100	*50		100	100	100			450
個別学力検査等					150		150	5	15	320
計	配点a	100	*100	250	50	250	5	5	15	770
	配点b		*50		100					

○ 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名は40ページを参照すること。

(2) 合否判定基準の変更

一般選抜（前期日程）の合否判定基準を次のとおり変更します。

(旧) (1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点により順位づけする。

(2) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。ただし、配点A及びBにおいて、合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

(3) ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。

(新) (1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。

(2) ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。

【環境科学部】

合否判定基準の変更

一般選抜（後期日程）の合否判定基準を次のとおり変更します。

- (旧) (1)～(2) 略
(3) 総得点が著しく低い者は、不合格とすることがある。
- (新) (1)～(2) 略
(3) 総得点の得点率が原則として40%未満の者は不合格とする。

【水産学部】

(1) 募集人員の変更

一般選抜（前期日程）及び一般選抜（後期日程）の募集人員を次のとおり変更します。

<令和4年度>

一般選抜（前期日程）	一般選抜（後期日程）
<u>45人</u>	<u>45人</u>



<令和5年度>

一般選抜（前期日程）	一般選抜（後期日程）
<u>60人</u>	<u>30人</u>

(2) 選抜方法及び配点の変更

- ① 一般選抜（前期日程）において大学入学共通テストの得点による第1段階選抜を廃止し、大学入学共通テストの得点と個別学力検査等との総得点で合否を決定することから、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点を次のとおり変更します。

<令和4年度>

区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	PI	調査書	配点合計
*共通テスト	*200	*100	*200	*200	*200			*900
個別学力検査等			<u>125</u>	<u>125</u>		<u>20</u>	<u>10</u>	<u>280</u>

* 大学入学共通テストを資格試験的に利用し、大学入学共通テストの得点は合否判定には利用せず、個別学力検査等の成績のみで判定する。



<令和5年度>

区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	PI	調査書	配点合計
共通テスト	200	100	200	200	200			900
個別学力検査等			<u>400</u>	<u>400</u>		<u>80</u>	<u>20</u>	<u>900</u>

(3) 合否判定基準の変更

- ① 一般選抜（前期日程）の合否判定基準を次のとおり変更します。

(旧) (1) 大学入学共通テストを資格試験的に利用する。

(2) 個別学力検査等の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。

(大学入学共通テストの得点は合否判定には利用しない。)

ただし、ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。

(3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

(新) (1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。

ただし、ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。

(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

上記以外の入試の詳細は、本冊子の関係ページで確認してください。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮等について

(1) 追試験の実施

新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由から試験を受験できない者の受験機会を確保するために、令和5年3月22日(水)を第1日目として、一般選抜(前期日程)及び一般選抜(後期日程)の追試験を実施します。

詳細は59ページ「22. 追試験」を参照してください。

(2) 入学者選抜実施日程を以下のとおり変更します。

区 分	学 部 名	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続締切
前期日程	全 学 部	1/23(月) ～ 2/ <u>3(金)</u>	2/25(土) *教育学部, 医学部医学科及び歯学部は, 2/26(日) も実施する。 変更なし	3/ 8(水) 変更なし	3/15(水) 変更なし
後期日程	経 済 学 部 薬 学 部 情報データ科学部 工 学 部 環 境 科 学 部 水 産 学 部		3/12(日) 変更なし	3/20(月) 変更なし	3/ <u>26(日)</u>

注)一般選抜追試験は試験日を3月22日(水)・23日(木)とし、合格者発表を3月26日(日)、入学手続を3月30日(木)までとします。

新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、受験に当たっては、以下のことに留意してください。

- 試験日までに以下の症状がある場合には、予めかかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談するとともに、追試験の受験を検討してください。
 - ① 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある
 - ② 基礎疾患等により重症化しやすい受験生のうち、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある
 - ③ 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続いている
 - 「新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者」、「試験日直前に濃厚接触者*に該当するとされた者」は、受験できません。必ず事前に問い合わせ先に連絡して追試験を受験してください。
- *濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者及び同居している者が陽性者となったものをいう。
- 「海外から入国し、入国後の待機期間中の者」は、受験できません。そのため待機期間の有無を確認の上、余裕を持って入国してください。
 - 試験日の2週間前から毎日、別紙「健康状態確認シート」に体温、症状の有無を記入し、試験当日に持参してください。持参を忘れた場合、受験ができなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 試験当日、受験者は、試験場内では昼食時を除き、必ず不織布マスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。なお、事情により不織布マスクの着用が困難な場合は、予め問い合わせ先に連絡してください。
 - 試験当日、発熱や咳等の症状がある場合には、すみやかに監督者等の本学関係者に申し出てください。なお、発熱や症状によっては、別室での受験となりますので、ご承知おきください。
 - 試験当日は、試験室の換気のため、窓等の開放を行いますので、上着など暖かい服装を持参してください。
 - 昼食については、食堂等の開放は行いませんので、昼食を持参し、自席など監督者等から指示された場所で黙食してください。また、休憩時間や昼食等において他者との接触、会話は極力避けてください。
 - 試験時間中に、写真票と受験票の写真及び受験者本人を確認する場合など、監督者から不織布マスクを一旦取り外すよう指示することがありますので、その際は、指示に従ってください。
 - 試験当日、受験者以外の者は、試験場内へ入構することはできませんので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 日頃から感染予防のため、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動・休養・睡眠など体調管理に心掛けてください。

本件に関するお問い合わせ先
長崎大学学生支援部入試課
TEL 095-819-2110

健康状態確認シート

日程 いずれかに○	前期日程・後期日程	学部・学科	受験番号	氏名
--------------	-----------	-------	------	----

※試験当日に試験監督者等からの指示に基づき提出してください。前ページの「新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について」をよく読み、場合によっては、追試験の受験を申請してください。

	前期日程に係る確認日	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25 試験当日	記入例	
		後期日程に係る確認日	2/26	2/27	2/28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11		3/12 試験当日
体温	37.5℃以上	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
症状	のどの痛み	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	⊕・-
	鼻水	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	せき	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	⊕・-
	下痢	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	鼻詰りがしないのに臭いや味がしない	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	⊕・-

+：あり
-：なし

1. アドミッション・ポリシー

〔全学共通のアドミッション・ポリシー〕

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- ・ 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・ 自ら考えようとする態度がある。
- ・ 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・ 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- ・ 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。

〔多文化社会学部のアドミッション・ポリシー〕

多文化社会学部は、全学共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学部の教育理念，教育研究上の目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえて，入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- ・ 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- ・ 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ，それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- ・ 世界の多文化状況を客観的に捉え，見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- ・ 自らの考えを整理し，表現するライティング能力（文章力）を有する。
- ・ 多様な人々と共生的な関係を築き，協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- ・ 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち，グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等	基礎学力	語学力(英語)	批判的・論理的 思考力	ライティング 能力	コミュニケーション・自己表現能力	多文化状況への 興味・関心
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(知識・技能) (思考力等)	(思考力等) (主体性等)	(知識・技能)	(思考力等) (主体性等)	(思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程 (4コース)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
	前期日程 (オランダ)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
	面接		○	◎		○	◎	
総合型選抜I	一般枠 (4コース, オランダ)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
	グローバル・国際バカロレア枠 (4コース)	筆記試験				◎	○	
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
学校推薦型選抜II (4コース)	共通テスト	◎	◎					
	推薦書	○	○			○	○	
	志望理由書					◎	◎	
	調査書	○	○			○	○	
	面接		○		◎	◎	◎	
帰国生徒選抜	提出書類	◎	○					
	面接	○	○	◎	○	○	◎	
外国人留学生選抜	提出書類 (日本留学試験を含む)	◎	○					
	面接	○	○	◎	○	○	◎	

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・ 専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。
- ・ 幼児・児童・生徒および保護者，同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・ 主体的に学修を継続し，発展させようとする意欲と態度がある。
- ・ 現代の教育課題への関心を持ち，教職を志望している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

【小学校教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般 選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録				○	
	調査書	○			○	
	面接				◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎				
	小論文			◎		
	推薦書				○	
	志望理由書				○	
	調査書	○			○	
	面接				◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○				
	面接		○		◎	

【中学校教育コース 文系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般 選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎				
	小論文			◎		
	推薦書				○	
	志望理由書				○	
	調査書	○			○	
	面接				◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○				
	個別学力検査	◎		◎		
	面接				◎	

【中学校教育コース 理系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○				
	推薦書					○	
	志望理由書					○	
	調査書	○				○	
	面接	○	○		○	○	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○					
	個別学力検査	○	○				
	面接				○	○	

【中学校教育コース 実技系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○					
	個別学力検査	◎	◎				
	面接				◎	◎	

【幼児教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○				
	推薦書					○	
	志望理由書					○	
	調査書	○				○	
	面接			◎	◎	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	◎					
	面接			○	◎	◎	

【特別支援教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書					○
		面接				◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○				
	小論文			◎			
	推薦書					○	
	志望理由書					○	
	調査書	○				○	
	面接			○	◎	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	◎					
	面接			○	◎	◎	

〔経済学部のアドミッション・ポリシー〕

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲，主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的学力が身についている (知識・技能)	論理的思考力が身についている (思考力等)	コミュニケーション力が身についている (思考力等)	学習意欲, 主体性や 行動力がある (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜 I	筆記試験		◎			
	自己推薦書			○	◎	
	調査書				○	
	面接 (プレゼンテーション型)			◎	◎	
総合型選抜 II	共通テスト	○	○	○		
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録				○	
	調査書				○	
	面接				○	
学校推薦型選抜 I	小論文	○	◎	○		
	推薦書				○	
	調査書				○	
	面接				○	
外国人留学生選抜	小論文	○	◎	○		
	英語外部試験	○			○	
	日本留学試験	◎			○	
	面接				○	

〔医学部（医学科）のアドミッション・ポリシー〕

医学科では入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
- ・ 医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナルリズムを認知して、強い目的意識と高い志を持つ。また、その実践のために必要な思考力、判断力を有する。
- ・ 生命の尊厳を重んじ、高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- ・ チーム医療への貢献のために必要な協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップと強い責任感を有する。
- ・ 広く生命科学分野への探求心を有し、さらに、社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- ・ 地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	読解力・表現力 (知識・技能) (思考力等)	コミュニケーション能力 (思考力等)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		調査書					○
		面接			◎		◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト		◎	◎		○	
	小論文 (学校推薦型 選抜ⅡBのみ)	○	○	○		◎	○
	推薦書	○				○	○
	志望理由書					○	○
	調査書	○					○
	面接				◎		◎
外国人留学生選抜	日本留学試験		◎	○		○	
	個別学力検査		○	◎		◎	
	面接				◎		◎

〔医学部（保健学科）のアドミッション・ポリシー〕

保健学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
2. 対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力がある。

実習では患者さんやその家族との間に良好な信頼関係を構築する必要があることから、非言語的要素を含むコミュニケーション能力を重視します。そのため全ての入学試験に面接を課します。

3. 専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力がある。
4. 主体的に学修を継続する態度と意欲がある。
5. 基礎的な倫理性と、他者への共感性や協調性、リーダーシップを持つ。
6. 国際社会や地域社会における保健への関心がある。
7. 国際的な学術文献の講読に必要となる基本的な英語読解力がある。

最新の科学的根拠を収集するために必要な英語読解力の基礎が養われていることを重視します。そのため前期日程と外国人留学生選抜では個別試験で英語、学校推薦型選抜Ⅱおよび社会人選抜では小論文で英語の問題を課します。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	コミュニケーション能力 (思考力等) (主体性等)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心 (思考力等) (主体性等)	英語読解力 (知識・技能) (思考力等)	
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		○		○	
		個別学力検査			○		◎	
		調査書					○	
		面接			◎		◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎			○		○	
	小論文				◎		○	
	調査書	○				○		
	推薦書					○		
	志望理由書					○		
	面接			◎		◎		
外国人留学生選抜	日本留学試験	◎						
	個別学力検査				○		◎	
	面接			◎		◎		
社会人選抜	小論文				◎		○	
	面接			◎		◎		

【歯学部のアドミッション・ポリシー】

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- ・ 専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- ・ 歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- ・ 主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力を有している。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- ・ 将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力，判断力， 表現力 (思考力等)	歯科口腔医学，歯科 口腔医療に対する強 い関心と明確な目的 意識ならびに使命感 (主体性等)	主体性を持って学ぶ 態度と多様な人々と 協働するコミュニケ ーション能力 (主体性等)	最先端歯科医療，歯学 研究，歯学教育を担う ことを目指し，大学院 に進学する強い意思 (主体性等)
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書	○				○
		志願調書				○	
		面接				◎	◎
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		歯学部ゼミナール	◎			◎	
		調査書	○				
		自己推薦書				○	
		面接				◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		小論文		○	○		
		調査書	○				
		推薦書				○	○
		志望理由書				○	○
		面接				◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	◎			
		修了(修了見込)証明書 および成績証明書	○				
		個別学力検査	○	◎			
		面接				◎	◎

【薬学部のアドミッション・ポリシー】

＜薬学科（6年制）＞

薬学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・ 専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・ 英語論文の読解・解説をはじめ、グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・ 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・ 協調性やコミュニケーション能力を持つ。
- ・ 薬学、生命科学に高い関心があり、研究や持続的な学修への意欲を持つ。

【薬学科】選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	数学, 理科, 英語 の学力 (知識・技能)	思考能力, 問題解決 能力 (思考力等)	協調性, コミュニケーション能力, 関心, 意欲 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程	共通テスト	○	◎		
		個別学力検査		○	○	
		調査書				○
		面接			○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	○	◎			
	推薦書				○	
	調査書				○	
	志望理由書				○	
	面接		○	○	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○			
	個別学力検査		◎	○		
	面接			○	◎	

＜薬科学科（4年制）＞

薬科学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・ 専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・ 英語論文の読解・解説をはじめ、グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・ 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・ 積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- ・ 薬学、生命科学に高い関心があり、研究や持続的な学修への意欲を持つ。

【薬科学科】選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	数学, 理科, 英語 の学力 (知識・技能)	思考能力, 問題解決 能力 (思考力等)	自己表現力, 行動力, 関心, 意欲 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程	共通テスト	○	◎		
		個別学力検査		○	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	○	◎			
	推薦書				○	
	調査書				○	
	志望理由書				○	
	面接		○	○	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○			
	個別学力検査		◎	○		
	面接			○	◎	

【情報データ科学部のアドミッション・ポリシー】

情報データ科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・情報の収集、伝達、整理・分析、加工・提示に関する基礎的な知識または技能を有する。
- ・専門的な学修に必要となる高校程度の数学、理科および英語の基礎学力を有し、科学的な思考・判断・表現に応用できる。
- ・知識とデータに基づく推論がさまざまな課題解決や新たな価値の創出に活かされることを理解している。
- ・自ら学びを深めようとする姿勢と行動力を備え、多様な人々と協力して文系・理系の枠を超えた課題に取り組める。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	知識・技能・基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	主体性・協調性 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	◎	
		調査書	○		○
		ペーパー・インタビュー			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	◎	
		調査書	○		○
		ペーパー・インタビュー			○
学校推薦型選抜 I	面接(口述試験を含む。小テストを組み合わせることもある。)	◎	◎	○	
	推薦書			○	
	調査書	○	○	○	
学校推薦型選抜 II	共通テスト	◎			
	面接		◎	○	
	小テスト(課題作文)	○	◎	○	
	推薦書			○	
	調査書	○	○	○	
外国人留学生選抜 A	日本留学試験	◎			
	小テスト	◎			
	面接(口述試験を含む)		◎	○	
外国人留学生選抜 B	小テスト	◎			
	面接(口述試験を含む)		◎	○	
	成績証明書	◎			
	志望理由書			○	
外国人留学生選抜 C	IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書	○			
	面接(口述試験を含む)	○	◎	○	
	志望理由書			○	

【工学部のアドミッション・ポリシー】

工学部は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 数学，理科，英語の基礎学力を有している。
- ・ 論理的思考力や読解力を有している。
- ・ 工学に強い関心を持ち，主体的に学修を継続する強い意志と実行力がある。
- ・ 協調性やコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	数学・理科・英語の 基礎学力 (知識・技能)	論理的思考力 読解力 (思考力等)	主体性 実行力 関心度 (主体性等)	協調性・ コミュニケーション能力 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書				◎	○
		ペーパー・インタビュー				○	◎
	後期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書				◎	○
		ペーパー・インタビュー				○	◎
総合型選抜Ⅰ	基礎学力テスト	◎	○				
	面接（口述試験を含む）	○	○	○	○	◎	
	調査書				◎	○	
	自己推薦書				○		
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	○	○				
	面接				○	◎	
	調査書	○			◎	○	
	志望理由書				○		
	推薦書				○	○	
外国人留学生選抜	面接（口述試験を含む）	○	○	○	○	◎	
	日本留学試験	○					
	外部英語検定試験	○					

【環境科学部のアドミッション・ポリシー】

環境科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 多様な環境科学を学修する基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
このため、大学入学共通テストでは幅広い科目に対して配点しています。前期日程試験の選抜方法A（文系受験）では国語、選抜方法B（理系受験）では理科の配点を高くしています。
- ・ 学修・研究に必要なとなる基本的な英語能力がある。
前期日程の選抜方法A（文系受験）の個別学力検査で英語を課し、選抜方法B（理系受験）では英語を選択可能な科目として位置づけています。
- ・ 環境科学を専門的に学修するために必要となる判断力や思考力を有する。
後期日程試験では、小論文試験でこれらの資質を評価します。
- ・ 環境をめぐる諸問題に強い関心を持ち、環境科学を学ぶ意欲にあふれ、主体的に学修を継続する姿勢がある。
このため、前期日程ではペーパー・インタビューで、後期日程や学校推薦型選抜、外国人留学生選抜等では面接で、これらの資質・素養を評価します。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	英語能力 (知識・技能) (思考力等)	判断力・表現力・ 思考力 (思考力等)	意欲・積極性、環境への 関心度 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査		○	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程	共通テスト	◎	○		
		小論文			○	○
		面接			○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
外国人留学生選抜	日本留学試験	◎				
	小論文			○	○	
	面接			○	○	

【水産学部のアドミッション・ポリシー】

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 海洋環境、海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- ・ 地域の様々な問題に対し地球規模の視野で柔軟に対応できる分野横断的な問題解決能力を獲得する意欲を有している。
- ・ 将来、国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的、主体的学修・研究姿勢を有している。
- ・ 知識偏重ではなく、将来、実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- ・ 諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的知識・技能 (知識・技能)	論理的思考力 (思考力等)	学修・研究姿勢 (主体性等)	問題解決能力 (思考力等)	水圏と社会の関わり への関心 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書	○			○	
		ペーパー・インタビュー				○	○
	後期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査 (総合問題)			○		
		調査書	○			○	
		面接				◎	○
総合型選抜Ⅰ	小テスト	◎	○			○	
	調査書	○					
	諸活動の記録	◎			◎	○	
	課題論文			○		○	
	自己推薦書				○	○	
	面接				◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	◎				
	調査書	○					
	推薦書	○	○		○	○	
	志望理由書				◎	○	
	面接				◎	◎	
帰国生徒選抜	小論文	○	◎				
	面接	○	○		◎	◎	
外国人留学生選抜	面接	○	◎		◎	◎	

2. 入学者選抜方式及び実施日程

長崎大学の入学者選抜方式及び実施日程は、次のとおりである。

なお、本学内の学内併願については、特に制限を設けず、前期日程の学部と、後期日程の学部との併願を認める（学内併願する場合は、それぞれの日程ごとに別途出願（※）すること。）。

※インターネット出願には「追加出願」機能があり、個人情報入力は一度で済む。

選 抜 方 式		学 部 名	出 願 期 間	試 験	合 格 者 発 表	入 学 手 続 締 切
分 離 分 割 方 式	前期日程	多文化社会学部 教育学部 経済学部 医学部 歯学部 薬学部 情報データ科学部 工学部 環境科学部 水産学部	1/23(月) ～ 2/3(金) 〈必着〉	2/25(土) *教育学部、医学部 医学科及び歯学部 は、2/26(日)も 実施する	3/8(水)	3/15(水)
	後期日程	経済学部 薬学部 情報データ科学部 工学部 環境科学部 水産学部	*インターネット 出願登録は、1/16 (月)から可能	3/12(日)	3/20(月)	3/26(日)

注1) 教育学部、医学部（医学科）及び歯学部は、面接試験を2月26日（日）に実施する。

2) 多文化社会学部、教育学部、医学部及び歯部部の後期日程は実施しない。

3) 一般選抜追試験は試験日を3月22日(水)・23日(木)とし、合格者発表を3月26日(日)、入学手続を3月30日(木)までとする。詳細は59ページ「22. 追試験」を参照すること。

4) 2段階選抜を実施する学部等においては、第1段階選抜合格者の整理番号（出願登録時に発行される「N」から始まる番号）を2月13日（月）14時以降に長崎大学ホームページ（以下参照）に掲載するとともに、不合格者には同日付けで不合格通知及び検定料一部返還の文書を発送する。

長崎大学ホームページ（受験生の入試情報サイト）

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/index.html>

3. 募集人員

学部	学科等		募集人員			
			一般選抜			
			(分離・分割方式)			
		前期日程	後期日程			
多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース オランダ特別コース		68		
		小 計		7		
				75		
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	子ども理解系 教科授業開発系 離島・地域文化系	71		
		中学校教育コース	文系	15		
			理系	14		
			実技系	5		
		幼児教育コース		10		
特別支援教育コース		11				
小 計				126		
経済学部	総合経済学科		190		40	
医学部	医学科		71			
	保健学科	看護学専攻	54			
		理学療法学専攻	24			
		作業療法学専攻	14			
	小 計				163	
歯学部	歯学科		33			
薬学部	薬学科		28		6	
	薬科学科		21		15	
	小 計		49		21	
情報データ科学部	情報データ科学科		75		15	
工学部	工学科	機械工学コース		160	50	53
		電気電子工学コース				
		構造工学コース				
		社会環境デザイン工学コース				
		化学・物質工学コース				
小 計				210		53
環境科学部	環境科学科	選抜方法A(文系)	40		10	
		選抜方法B(理系)	40		10	
	小 計			80		20
水産学部	水産学科		60		30	
合 計			1,061		179	

- 注1) 医学部保健学科及び情報データ科学部の募集人員は、概算要求事項のため、変更の可能性があります。詳細は4ページI「医学部保健学科及び情報データ科学部の募集人員増について」参照。
- 2) 総合型選抜、学校推薦型選抜(医学部医学科の学校推薦型選抜ⅡB及びCを除く。)及び社会人選抜による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えて選抜する。
- 3) 外国人留学生選抜(情報データ科学部及び環境科学部)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の募集人員に加えて選抜する。
- 4) 多文化社会学部の国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定する。
- 5) 教育学部小学校教育コースはコースで募集し、入学後に所属する系を決定する。
- 6) 教育学部中学校教育コース文系及び理系の入学後に専攻する教科は、志願者が出願時に希望する教科を届け出、合格発表時に通知する。
- 7) 医学部医学科の入学定員には、令和4年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員が含まれていたが、その増員のうち地域枠増員以外の一般選抜(前期日程)増員分の5人については、令和5年度入学定員から廃止となった。
- 8) 工学部工学科の一般選抜は工学科全体で募集し、合格発表時にコースを決定する(前期日程のa方式、b方式、合格者のコース決定方法、受け入れ上限人数の目安は、37ページ「11.入学者選抜方法(6).工学部(前・後期日程)」を参照のこと。)

* 志望についての注意事項

(1) 多文化社会学部

①「国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース、言語コミュニケーションコース」又は②「オランダ特別コース」のいずれかを選択し志望すること。

なお、①「国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース、言語コミュニケーションコース」については、1年次終了時にコースを決定する。

(2) 教育学部

下表の募集区分のうちから1つを志望すること。また、中学校教育コース文系及び理系の志願者は、入学後に専攻する希望教科を出願時に届け出ること。

募 集 区 分	入学後に専攻する教科
小学校教育コース	—
中学校教育コース 文系	国語、社会又は英語
中学校教育コース 理系	数学又は理科
中学校教育コース 実技系	保健体育
幼児教育コース	—
特別支援教育コース	—

(3) 医学部保健学科

保健師、助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では保健師国家試験、助産師国家試験受験資格を取得できない。

(4) 工学部

工学部工学科の前期日程は工学科全体を a 方式及び b 方式で募集し、合格者発表時に各方式の中でコースを決定する。合格者のコースは、受験者が出願時に届け出た第1～4希望のコースに基づき、第1希望を優先して決定し、合格者発表時に通知する。

詳細は37ページ「11. 入学者選抜方法（6）工学部（前・後期日程）」を参照のこと。

(5) 環境科学部

選抜方法A（文系受験）、選抜方法B（理系受験）の2つの受験方法から1つを選択し志望すること。

4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、令和5年度大学入学者選抜大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験したものとする（受験を要する教科・科目については75～76ページ参照）。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で令和5年3月31日までに18歳に達するもの
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

5. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ「入試情報」→「入試情報サイト」→「インターネット出願」からインターネット出願システムを利用して出願を行う。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/>

出願書類の様式は、<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/>からダウンロードすること。

【注 意】

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願完了にはならない。以下の出願の流れに沿って①から④までの手続きを行い、必要書類を出願締切日までに本学に届くように郵送すること。

【インターネットを利用した出願の流れ】

①募集要項の確認(ダウンロード)(事前準備書類の印刷)



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認する。
※志望理由書等、事前に自分で印刷して準備する書類もあるので注意すること。

②出願情報の登録(一時保存機能付き)



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力する。

【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択

◎氏名・連絡先等の個人情報の入力

※一時保存機能により、検定料支払い前に学校の先生や保護者の方の確認も可能

※登録後に発行される整理番号とセキュリティコードは、受験票を印刷する際に必要となるので、必ずメモをとる等して控えること。

※検定料支払い後は、登録内容の変更はできないので、支払い前に再度確認すること。

③支払方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を選択する。

【支払い方法】◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM(ペイジー)

◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って、出願締切日までに**出願書類を郵送**できるように入学検定料を支払うこと。

④必要書類の印刷・郵送



インターネット出願システムから出願確認票を印刷し、自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れる。

その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、長崎大学へ出願締切日までに届くように郵送し、**出願完了**となる。

(2) インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日

区 分	学 部 等	出願登録開始日及び検定料支払開始日
前期日程 後期日程	全学部	令和5年1月16日(月)

注) 下記の出願締切日までに出願書類を提出できるように登録及び支払いを済ませること。

(3) 出願期間(出願書類提出期間)

郵送受付のみ可(持参受付は行わないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって出願すること。)

区 分	学 部 等	出願期間	出願締切日
前期日程 後期日程	全学部	令和5年1月23日(月) ～ 令和5年2月3日(金)	2月3日(金) 17時必着 <u>(持参不可)</u>

注) 出願書類等を郵送する際は、市販の角形2号封筒にインターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを必ず貼り付け、簡易書留速達とし、出願締切日までに届くよう郵送すること。

(4) 出 願 書 類

以下の①～③の書類を提出すること。

各書類の提出を要する学部については表の左側の出願書類等の名称の括弧書きを参照すること。

①インターネット出願システムから印刷するもの

必ずA4サイズでカラー印刷すること。

出 願 書 類 等	摘 要
出 願 確 認 票 (全 学 部)	出願内容等に間違いがないか確認して、インターネット出願システム登録時に印刷すること。 ※出願確認票は大学へ郵送する書類である。
宛 名 ラ ベ ル (全 学 部)	出願確認票は、証明写真のアップロードと検定料の支払いが完了しないと印刷できない。 ※宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼付(普通紙印刷で糊付け可)すること。

②出願者が各自で準備するもの

出 願 書 類 等	摘 要
大学入学共通 テスト成績請求票 (全 学 部)	大学入試センター発行の「令和 5 共通テスト成績請求票」のうち、出願する日程用を、出願確認票の所定欄に貼り付けること。
調 査 書 (全 学 部)	<p>以下のうち該当するものを郵送すること。</p> <p>1. 高等学校又は中等教育学校卒業（卒業見込み）の者、あるいは特別支援学校の高等部修了（修了見込み）の者</p> <p>文部科学省が定めた様式により、出身学校長が作成し厳封したもの（1年以内に証明されたものであること）。調査書には、学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者については「学習成績概評」欄に㊸と標示することができる（備考欄にその理由を記載すること）。</p> <p>ただし、特別な事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿（写）等を提出すること。この場合、学校長からの「調査書が発行できない旨の文書」を添付すること。なお、特別な事情とは、被災・廃校・記録の保存期間の経過その他の事情によるもののことである。</p> <p>2. その他修了等（修了等見込み）の者</p> <p>① 高等専門学校第 3 学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者については、調査書の様式に準じて出身学校長が作成したもの</p> <p>② 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者、GCE-A レベル資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、当該資格等の成績証明書等</p> <p>③ 高等学校卒業程度認定試験合格者（廃止前の大学入学資格検定合格者を含む）は、合格成績証明書又は合格見込成績証明書</p> <p>また、高等学校に在籍したことのある者および一部の科目を高等学校等で履修している者は、在学期間中の成績証明書又は調査書。</p> <p>④ 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「長崎大学入学資格認定書」の写し</p> <p>注) 上記 1 に該当する者のうち、特別な事情により調査書が得られない者及び 2 に該当する者は、上記書類に加えて、31 ページ（4）③本学所定の用紙（ホームページに掲載）の活動報告書を必ず提出すること。</p>

外国語検定試験の 成績証明書等 (多文化社会学部)	外国語検定試験の成績を利用する者は、次の表に掲げる成績証明書等のいずれかの写しを提出すること。	
	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類
	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report
	TOEIC L&R	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
	TOEIC S&W	TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
	実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は英検 S-CBT)	実用英語技能検定 合格証明書
	IELTS	INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM Test Report Form
	GTEC(4技能版)	GTEC OFFICIAL SCORE CERTIFICATE [4技能版]
TEAP	TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES	
	注1) 外国語検定試験は、令和3年1月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和3年1月以降に受験した試験とする。	
	注2) 外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBT(Home Edition を含む。))は Test Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP 及び TOEIC IP は対象としない。	
検 定 料 (全 学 部)	17,000円	
	<p>① 支払期間 前記「(2)インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日」を参照</p> <p>② 支払に際しての留意事項 支払い時に別途必要な手数料は、入学志願者本人の負担となる。</p> <p>③ 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ア 検定料を支払ったが長崎大学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、又は検定料を誤って二重に支払った場合には、支払った者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。 イ 多文化社会学部、医学部医学科及び薬学部薬学科の2段階選抜における第1段階選抜不合格者並びに個別学力検査等の出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては、本学が定める返還手続きにより13,000円を返還する。(詳細については、文書で通知する。)</p> <p>※ 問い合わせ先 長崎大学学生支援部入試課 Tel 095-819-2111</p>	

注) 改姓等がある場合は証明する書類を併せて提出すること。

③本学所定の用紙(ホームページに掲載)を印刷し作成するもの

必ずA4サイズで印刷すること。

出願書類等	摘要
活動報告書 (調査書が提出できない者)	以下のURLからダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送すること。 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/
志願調書 (医学部医学科及び歯学部)	

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 出願書類を郵送した時点で出願の意思ありと判断するため、それ以降の出願取消の申し出には一切応じない。
- ② 本学の前期日程に出願する者は、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の前期日程に出願することはできない。
また、本学の後期日程に出願する者は、他の国公立大学の後期日程に出願することはできない。
なお、本学内の併願については、特に制限を設けず、前期日程の学部と、後期日程の学部との併願を認める(学内併願する場合は、それぞれの日程ごとに別途出願すること)。
※公立大学協会ホームページ <https://www.kodaikyo.org/>
- ③ 国公立大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜合格者は、本学の個別学力検査等を受験しても合格者とはならない(ただし、当該大学の定める総合型選抜及び学校推薦型選抜の入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除く)。
- ④ 大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学に出願できない。
- ⑤ 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」及び「理科」において、第1解答科目として、本学・学部の指定した教科・科目以外の科目を受験した場合には、本学に出願できない。
- ⑥ 志望した学部・学科等(学科, コース, 専攻, 系, 選抜方法)及び選択教科・科目等については、出願後の志願者による追加・変更は一切認めない。
- ⑦ 出願書類に不備がある場合は受理しないので、「入力・記入もれ」、「誤入力・誤記」など不備がないよう十分確認すること。
- ⑧ 一旦受理した出願書類はいかなる理由があっても返還しない。
- ⑨ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがある。
- ⑩ 本学の個別学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなれない。
- ⑪ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報(氏名, 高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限る。)が、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学へ提供される。

6. 総合型選抜・学校推薦型選抜に出願した者への注意事項

本学及び他の国公立大学の総合型選抜, 学校推薦型選抜に出願した者で、不合格となった場合は(又はその場合に備えて)、前期日程から一つ、後期日程から一つ、合計二つの任意の大学の一般選抜に出願することができる。

7. 個別の入学資格審査

本学の出願資格（26 ページ）の中で「(9) 本学における個別の入学資格」により出願する場合は、事前に資格審査を行う必要があるため令和 4 年 11 月 22 日（火）までに申請書類を添えて申請すること。

なお、申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学入学資格認定申請書」と朱書きすること（持参可）。

また、他大学において個別の入学資格審査による認定を受けた者は、その認定を受けたことを証明する書類の写しを添付すること。

申請に必要な書類のうち、本学所定の様式（様式第 1～第 3）については、次の長崎大学ホームページからダウンロードすること。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/file/R05/r05shinsa.pdf>

(1) 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 中学校卒業で、各種の学校等での学習歴、社会での実務経験等に基づいて高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの

(2) 申請書類

I. 前記（1）①に該当する者

- ア. 入学資格認定申請書（様式第 1）
- イ. 学習等の履歴書（様式第 2）
- ウ. 当該学校の教育が 12 年の課程であることを証明できるもの
- エ. 当該学校の教育内容等を証明できるもの
- オ. 卒業証明書又は卒業見込証明書（生年月日を記載したもの）
- カ. 返信用封筒（長形 3 号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 404 円分を貼ったもの）

II. 前記（1）②に該当する者

- ア. 入学資格認定申請書（様式第 1）
- イ. 学習等の履歴書（様式第 2）
- ウ. 各種の学校等での学習歴を証明できるもの
- エ. 社会経験等の履歴（様式第 3）
- オ. 今までに取得した資格等を証明できるもの
- カ. 18 歳に達した者であることを証明できるもの（健康保険証、運転免許証、パスポート等の写し）
- キ. 返信用封筒（長形 3 号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 404 円分を貼ったもの）

(3) 資格審査の方法

入学資格審査は、提出された申請書類によって行う。

I. 前記（1）①の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査する。

II. 前記（1）②の申請者

申請者の学習歴、社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査する。

(4) 資格審査結果の通知

入学資格審査の結果は、令和 5 年 1 月 13 日（金）までに申請者宛に発送する。

なお、入学資格審査が認められた者には、「長崎大学入学資格認定書」を交付する。

また、入学資格を認められなかった者には、理由を付して審査結果を通知する。

(5) 長崎大学入学者選抜試験への出願

「長崎大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、一般選抜に出願する際に、必ず「長崎大学入学資格認定書の写し」を添付すること。

なお、交付された本学の入学資格認定書は次年度以降も有効である。

8. 障がい等のある入学志願者との事前相談

(受験上及び修学上の配慮を必要とする者)

次表に掲げる障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願の前に下記の内容を記載した申請書(様式は任意)に医師の診断書を添え、本学学生支援部入試課へ提出し、相談すること。

入学者選抜において、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

区 分	配 慮 の 対 象 と な る 者
〔ア〕視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
〔イ〕聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
〔ウ〕肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
〔エ〕病 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
〔オ〕発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
〔カ〕そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・〔ア〕～〔オ〕の区分以外の者で配慮を必要とする者

(1) 申請書の内容

- ①前期・後期日程の区分、志望学部・学科等(コース、専攻、系、選抜方法)
- ②障がいの種類・程度
- ③受験上の配慮を希望する事項
- ④修学上の配慮を希望する事項
- ⑤出身学校等でとられていた配慮
- ⑥日常生活の状況
- ⑦志願者の住所・氏名・連絡先電話番号・FAX 番号等
- ⑧大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)【大学入学共通テストにおいて受験上の配慮決定通知を受けた者】

(2) 申請書の提出期限

原則として令和5年1月10日(火)まで

上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じるが、十分な対応が出来なくなることもある。ただし、点字による受験を必要とする者等、通常の試験方法による受験が困難な障がい等を有する者については、上記期限にかかわらずできるだけ早期に申請書を提出すること。

(3) 連 絡 先

長崎大学学生支援部入試課

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2111

☆ 本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

9. 長崎大学入学時給付奨学金

本学では、成績優秀な学生に対して、本学に対する進学意欲を促し、地域の発展に貢献できる優秀な学生の人材育成につなげることを目的とした返還の必要がない給付型奨学金を設けている。

(1) 給付額、給付時期等

- ① 30万円を入学した年の4月に給付する。
- ② 給付された奨学金は、原則として返還の必要はない。ただし、次のいずれかに該当する場合は、奨学金の返還を求められることがある。
 - (i) 入学後1年以内に休学（傷病を理由とする場合を除く。）又は退学したとき。
 - (ii) 入学後1年以内に長崎大学学則（平成16年学則第1号）第50条に規定する懲戒処分を受けたとき又は除籍となったとき。

(2) 給付対象者数（最大44名）

多文化社会学部，教育学部，経済学部，医学部（医学科），医学部（保健学科），歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部，環境科学部，水産学部から各4名。

(3) 対象者等

- ① 奨学金の給付対象者は、一般選抜（前期日程）の合格者のうち、各学部（医学部は医学科と保健学科）の合否判定基準に基づく順位が合格者数の上位から20%以内にある者で、かつ、次のいずれかに該当するもの。
 - (i) 長崎県内に所在する高等学校等を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者
 - (ii) 上記以外の者給付対象者の人数は、学部ごとに(i)及び(ii)に該当する者のうち、それぞれの順位が上位2名以内とする。
- ② 給付対象者には、合格発表時に入学時給付奨学金給付予定者決定通知書を送付する。

(4) その他

入学時給付奨学金の給付を受けるためには、所定の期日までに入学手続きを行い、所定の誓約書及び振込依頼書を提出する必要がある。

10. 受験票の印刷等

受験票は、前期日程・後期日程ともに令和5年2月13日（月）14時以降にインターネット出願システム上で印刷が可能（下記※に該当する者を除く。）となるので、インターネット出願システムの申込確認画面から、整理番号（出願登録時に発行される「N」から始まる番号【例：N123456】）とセキュリティコード（出願登録時に発行される4桁の数字）を入力し、受験票を各自で印刷（A4サイズでカラー印刷：書き込み不可）して試験当日に持参すること（上記期日の翌日以降において受験票が印刷できない場合は、下記へ問い合わせること。）。

また、学部によっては、受験上の注意事項等（集合時間・場所等）に関する案内がある場合があるので、必ず本学ホームページ（下記URL参照）を確認すること（受験票が印刷可能となる日以降に掲載予定）。

※ 第1段階選抜不合格者及び個別学力検査等の出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては、検定料の一部返還について文書で通知する。

注) 第1段階選抜の結果発表

2段階選抜を実施する多文化社会学部、医学部医学科（入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合に限る。）及び薬学部薬学科（入学志願者が募集人員の約20倍を超えた場合に限る。）においては、第1段階選抜合格者の整理番号（出願登録時に発行される「N」から始まる番号）を令和5年2月13日（月）14時以降に本学ホームページ（下記URL参照）に掲載するので、確認すること。

なお、第1段階選抜合格者には文書での通知は行わないので、本学ホームページ及び受験票が印刷できることを必ず確認すること。

長崎大学 学生支援部 入試課 TEL095-819-2111

長崎大学ホームページ（受験生の入試情報サイト）

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/index.html>

11. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績、高等学校長等から提出された調査書等の審査を総合して行う。

ただし、大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学に出願できない。

なお、本学では入学者選抜において、過去の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しない。

また、個別学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなれない。

上記によるもののほか、多文化社会学部（前期日程）、教育学部（前期日程）、経済学部（前期日程）、医学部医学科（前期日程）、薬学部薬学科（後期日程）、工学部（前・後期日程）及び環境科学部（前・後期日程）については次の方法により入学者の選抜を行う。

（1）多文化社会学部（前期日程）

①＜前期日程＞

大学入学共通テストの外国語の得点率が75%以上の者は第1段階選抜の合格者とする。

② ①にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における英語の平均点（リーディングとリスニングの平均点を本学が指定する配点比率に応じて200点満点に換算）を考慮して、①の得点率（英語に限る。）を引き下げることがある。

なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、令和5年1月20日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表する。

③ TOEFL iBT (Home Edition を含む。)61点以上, TOEIC L&R 730点以上, TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上, 実用英語技能検定（英検, 英検 CBT 又は英検 S-CBT）準1級以上, IELTS 5.5以上, GTEC(4技能版) 1140点以上又は TEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入学共通テストの外国語の得点を満点として取り扱う。よって、第1段階選抜の合格者とする。ただし、外国語検定試験のスコア・級を申請する場合であっても、大学入学共通テストにおける「外国語」を受験する必要がある。

注1) 本学における大学入学共通テストの外国語（英語）の配点（200点満点）は、リーディング（160点満点）、リスニング（40点満点）の4：1の比率とする。

2) 外国語検定試験は、令和3年1月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定（英検）については、二次試験を令和3年1月以降に受験した試験とする。

3) 外国語検定試験は公式スコア（TOEFL iBT(Home Edition を含む。)は Test Date スコアに限る。）を対象とし、TOEFL ITP, TOEIC IP は対象としない。

（2）教育学部（前期日程）

① 中学校教育コース文系における合格者の入学後に専攻する教科は、受験者が出願時に届け出た教科とし、合格発表時に通知する。

② 中学校教育コース理系における合格者の入学後に専攻する教科は、大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点の高い者から、受験者が出願時に届け出た第1希望を優先するが、次に掲げる各教科の受入れ上限の目安（※）を超えるときには、第1希望以外の教科とし、合格発表時に通知する。

（※）〔受入れ上限の目安〕 各教科で教育の質を保證できる人員数に相当する。

○ 数学 6人程度 ○ 理科 8人程度

③ 教育学部では、出願書類及び入学試験により取得された個人情報卒業要件内副免の選考資料に利用することがある。詳細は、入学後のオリエンテーション等で説明する。

(3) 経済学部（前期日程）

配点 a 及び配点 b の2つの配点方式を用いて入学者の選抜を行う。（詳細は「12. 学力検査の実施教科・科目等及び配点」の40, 41ページ並びに47ページ「iii 「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄」の（注16）を参照すること。）

(4) 医学部医学科（前期日程）

前期日程において、入学志願者が募集人員（71人）の約5倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入学共通テストの成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定する。

(5) 薬学部薬学科（後期日程）

後期日程において、入学志願者が募集人員（6人）の約20倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入学共通テストの成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定する。

(6) 工学部（前・後期日程）

前期日程において、出願時に選択した a 方式（共通テスト重視型）又は b 方式（個別学力検査等重視型）の中で合格者の決定を行う。

また、工学部工学科における合格者のコースの決定は、前期日程においては各方式の中で各コースの受入れ上限の目安（※）を設定し、後期日程においては各コースで受入れ上限の目安を設定し、受験者が出願時に届け出た第1～4希望のコースに基づき、第1希望を優先して次のように決定し、合格発表時に通知する。

合格者は、大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い者から、第1希望のコースに決定する。ただし、各コースの第1希望者数が受入れ上限の目安を超えるときには、第2希望以下のコースに決定されることがある。また、下位の希望コースを届け出なかった（例：第3, 4希望を書かなかった）などの事由で、出願の際に希望したコース以外になる場合もある。

a 方式（共通テスト重視型）：個別学力検査等に比べ共通テストの配点を高く設定する。

b 方式（個別学力検査等重視型）：共通テストに比べ個別学力検査等の配点を高く設定する。

各コースの受入れ上限の目安は次のとおり。

前期日程	(a 方式 (共通テスト重視型))	(b 方式 (個別学力検査等重視型))
○機械工学コース	46 人程度	14 人程度
○電気電子工学コース	44 人程度	14 人程度
○構造工学コース	25 人程度	8 人程度
○社会環境デザイン工学コース	22 人程度	7 人程度
○化学・物質工学コース	54 人程度	17 人程度

後期日程

○機械工学コース	14 人程度
○電気電子工学コース	14 人程度
○構造工学コース	7 人程度
○社会環境デザイン工学コース	6 人程度
○化学・物質工学コース	17 人程度

（※）受入れ上限の目安は、各コースで教育の質を保証できる人員数に相当する。

(7) 環境科学部（前・後期日程）

文理融合教育を行う学部として、文系と理系からそれぞれ学生を受け入れるため、選抜方法 A（文系受験）、選抜方法 B（理系受験）の2つの方法により入学者の選抜を行う。

12. 学力検査の実施教科・科目等及び配点

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階選抜	
		教科	科目名	教科等	科目名等		
多文化社会学部 多文化社会学科 100人 前期 75 総合型 15 その他 10	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース 90人 前期 68 総合型 12 その他 10	前期	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B } から1(注5) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は } から1(注5) 物理, 化学, 生物, 地学から1 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [4教科4科目]又は[4教科5科目]	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題)	2段階選抜の詳細は、 36ページ11.入学者選 抜方法(1)多文化社会 学部(前期日程)を参 照すること。
		後期	実 施 し な い				
	オランダ特別コース 10人 前期 7 総合型 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B } から1(注5) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は } から1(注5) 物理, 化学, 生物, 地学から1 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [4教科4科目]又は[4教科5科目]	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題) 面接	2段階選抜の詳細は、 36ページ11.入学者選 抜方法(1)多文化社会 学部(前期日程)を参 照すること。
後期			実 施 し な い				
教育学部 学校教育教員養成課程 180人 前期 126 総合型 4 その他 50	小学校教育コース 子ども理解系 教科授業開発系 離島・地域文化系 100人 前期 71 総合型 4 その他 25	前期	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から1又は2(注2) 地理A, 地理B } から3(注6) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1(注7) 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } から1(注7) (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 数I, 数I・数A, } から1(注7) 数II, 数II・数B, 簿, 情報 } から1(注7) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科6科目]又は[6教科6科目]	国 地歴・公民 数理 外 その他	国語総合 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1 } から1 数I・数II・数A・数B } (注10) 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, } から1 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接	
		後期	実 施 し な い				
	中学校教育コース 文系 24人 前期 15 その他 9	前期 2月25日 ・26日	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注2)(注8) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注7) 数I, 数I・数A, } から1(注7) 数II, 数II・数B, 簿, 情報 } から1(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1(注7) 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ※ } から1(注7) (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科6科目]又は[6教科6科目]	国 地歴・公民 外 その他	国語総合・現代文B・古典B 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1 } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅰ・ } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅱ・ } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅲ・ } から1(注11) 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ } から1(注11) 面接	
後期			実 施 し な い				
中学校教育コース 理系 21人 前期 14 その他 7	前期 2月25日 ・26日	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A } から1(注1) 数II・数B } から1(注1) ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び } ①又は② 物理, 化学, 生物, 地学から1 } ②物理, 化学, 生物, 地学から2 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]又は[5教科8科目]	数理 外 その他	数I・数II・数III・数A・数B } から1 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, } (注12) 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 } から1(注12) コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接		
		後期	実 施 し な い				
中学校教育コース 実技系 5人 前期 5	前期 2月25日 ・26日	国 地歴 公民 数理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から1又は2(注2) 地理A, 地理B } から3(注6) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1(注7) 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } から1(注7) (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 数I, 数I・数Aから1 } から1(注7) 数II, 数II・数Bから1 } から1(注7) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]又は[6教科7科目]	数 外 その他	数I・数II・数A・数B } から1(注13) コミュニケーション英語Ⅰ・ } から1(注13) コミュニケーション英語Ⅱ・ } から1(注13) コミュニケーション英語Ⅲ } から1(注13) 実技検査(体育) 面接		
		後期	実 施 し な い				

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接又はペーパーインタビュー	調査書		配点合計
共通テスト	100	*50		*50		200						400	総合型 学校推薦型 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100	230				30	360	
計	100	*50		*50		300	230				30	760	
実 施 し な い													
共通テスト	100	*50		*50		200						400	総合型 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100	230			30	30	390	
計	100	*50		*50		300	230			30	30	790	
実 施 し な い													
共通テスト	200	*200		200	*100	200						900	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200								
個別学力検査等	*300	*300		*300	*300	300				100	100	800	
計	*500	*500		*500	*400	500				100	100	1700	
		*400		*500	*500								
実 施 し な い													
共通テスト	200	*200		100	100	200						800	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等	*300	*300				*300				100	20	420	
計	*500	*500		100	100	*500				100	20	1220	
実 施 し な い													
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*400	*400	100				100	35	635	
計	200	*100		*600	*600	300				100	35	1535	
実 施 し な い													
共通テスト	200	*200		200	*100	200						900	外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200								
個別学力検査等				*100		*100			600	100	100	900	
計	200	*200		*300	*100	*300			600	100	100	1800	
		*100			*200								
実 施 し な い													

学 部 ・ 学 科 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		2段階選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等		
教育学部 学校教育教員養成課程 15人 前期 10 その他 5	前期 2月25日・26日	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4)※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。)	国 地歴・公民 数 理 外 その他	国語総合 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注10) 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ 面接	
		公民	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注7) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]				
	後期	実 施 し な い					
特別支援教育コース 15人 前期 11 その他 4	前期 2月25日・26日	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注2) } から3(注6) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。)	国 地歴・公民 数 理 外 その他	国語総合 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注10) 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ 面接	
		公民	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注7) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[6教科6科目]				
	後期	実 施 し な い					
経済学部 総合経済学科 295人 前期 190 後期 40 総合型 45 その他 20	前期 2月25日	国	国	数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 地歴・公民及び理科については, 【a】又は【b】(注9)	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ ペーパー・インタビュー	
		外	【a】 地歴 公民 理 【b】 地歴 公民 理				
	後期 3月12日	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]	その他	小論文 ペーパー・インタビュー	
医学部 211人+α 前期 163 その他 48+α	前期 2月25日・26日	国	国	世B, 日B, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	募集人員の約5倍
		公民	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は物理, 化学, 生物から1(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]				
	後期	実 施 し な い					
医学部 保健学科 116人 看護学専攻 70人 前期 54 その他 16 理学療法専攻 28人 前期 24 その他 4 作業療法専攻 18人 前期 14 その他 4	前期 2月25日	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は物理, 化学, 生物から1(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	
		公民	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は物理, 化学, 生物から1(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]				
後期	実 施 し な い						

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接又はペーパーインタビュー	調査書		配点合計
共通テスト	200	*100		200	100	200						800	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等	*300	*300		*300	*300	300				150	50	800	
計	*500	*400		*500	*400	500				150	50	1600	
実 施 し な い													
共通テスト	200	*200		200	*100	200						900	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200								
個別学力検査等	*300	*300		*300	*300	300				150	50	800	
計	*500	*500		*500	*400	500				150	50	1700	
		*400			*500								
実 施 し な い													
共通テスト	配点a (注16)	100	*100	100	50	100						450	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
	配点b (注16)	100	*50	100	100	100						450	
個別学力検査等				150		150				5	15	320	
計	配点a	100	*100	250	50	250				5	15	770	
	配点b		*50		100								
共通テスト	100	*50		100	50	100						400	
個別学力検査等								200		5	15	220	
計	100	*50		100	50	100		200		5	15	620	
共通テスト	100	*50		100	100	100						450	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	200				60	40	800	
計	100	*50		350	350	300				60	40	1250	
実 施 し な い													
共通テスト	100	*50		100	100	100						450	学校推薦型 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200				90	10	300	
計	100	*50		100	100	300				90	10	750	
実 施 し な い													

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等	
歯学部 歯学科 50人 前期 33 総合型 7 その他 10	前期 2月25日 ・26日	国	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, } から1 「生物基礎, 生物」から1 (注14) コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	
		地歴 公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]			
実施しない						
薬学部 80人 前期 49 後期 21 その他 10	前期 2月25日	国	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ ペーパー・インタビュー	
		地歴 公民 数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]			
	後期 3月12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を主体とした 試験) 面接	募集人員の約20倍
		理 外				
薬科学科 40人 前期 21 後期 15 その他 4	前期 2月25日	国	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ ペーパー・インタビュー	
		地歴 公民 数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]			
	後期 3月12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を主体とした 試験) ペーパー・インタビュー	
		理 外				
情報データ科学部 情報データ科学科 120人 前期 75 後期 15 その他 30	前期 2月25日	国	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ ペーパー・インタビュー	
		地歴 公民 数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 [5教科7科目]			
後期 3月12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 [3教科5科目]	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ペーパー・インタビュー		
	理 外					
工学部 工学科 330人 前期 210 後期 53 総合型 37 その他 30	前期 2月25日	国	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ ペーパー・インタビュー	
		地歴 公民 数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]			
後期 3月12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とした筆記試験) ペーパー・インタビュー		
	理 外					
※前期及び後期は工学科全体で選抜し, 総合型及び学校推薦型は下記のコース毎に選抜する。 ・機械工学コース ・電気電子工学コース ・構造工学コース ・社会環境デザイン工学コース ・化学・物質工学コース						

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接又はペーパーインタビュー	調査書		配点合計
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*300	*300	300				段階評価 (注17)	10	610	
計	200	*100		*500	*500	500					10	1510	
実 施 し な い													
共通テスト	100	*50		100	100	100						450	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				100	100	100				30	20	350	
計	100	*50		200	200	200				30	20	800	
共通テスト				100	100	100						300	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等							150			80	20	250	
計				100	100	100	150			80	20	550	
共通テスト	100	*50		100	100	100						450	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				150	200	150				30	20	550	
計	100	*50		250	300	250				30	20	1000	
共通テスト				200	200	200						600	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等							150			30	20	200	
計				200	200	200	150			30	20	800	
共通テスト	100	*50		200	200	150						700	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	100				30	20	650	
計	100	*50		450	450	250				30	20	1350	
共通テスト				200	200	200						600	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				200						30	20	250	
計				400	200	200				30	20	850	
a方式 (注18)	共通テスト	100	*50		200	150	100					600	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	150	50			10	10	420	
	計	100	*50		400	300	150			10	10	1020	
b方式 (注18)	共通テスト	25	*25		100	100	50					300	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				300	300	100			10	10	720	
	計	25	*25		400	400	150			10	10	1020	
共通テスト	25	*25		200	200	200						650	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等							300		20	10	330		
計	25	*25		200	200	200	300			20	10	980	

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選 抜	
		教科	科 目 名	教科等	科 目 名 等		
環境科学部 環境科学科 130人 前期 80 後期 20 その他 30	選抜方法A (文系受験) 50人 前期 40 後期 10	前期	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I, 数II・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ ペーパー・インタビュー	
		後期	国 地歴 公民 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注2) 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]又は[4教科4科目]	その他	小論文 面接	
	選抜方法B (理系受験) 50人 前期 40 後期 10	前期	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	数 理 外 その他	数I・数II・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 } から2 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ ペーパー・インタビュー (注15)	
		後期	数 理 外	数I・数A 数II, 数II・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注3) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]又は[3教科6科目]	その他	小論文 面接	
水産学部 水産学科 120人 前期 60 後期 30 総合型 5 その他 25		前期	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注3) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	数 理 外 その他	数I・数II・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 ペーパー・インタビュー	
		後期	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注3) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を主体とした 試験) 面接	

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													特別選抜の方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接又はペーパーインタビュー	調査書	配点合計	
共通テスト	200	*100		200	100	200						800	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200				50	50	300	
計	200	*100		200	100	400				50	50	1100	
共通テスト	200	*200				200						600	
個別学力検査等								100		100		200	
計	200	*200				200		100		100		800	
共通テスト	100	*100		200	200	200						800	学校推薦型 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*200	*200	*200				50	50	500	
計	100	*100		*400	*400	*400				50	50	1300	
共通テスト				200	200	200						600	
個別学力検査等								100		100		200	
計				200	200	200		100		100		800	
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総合型 学校推薦型 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				400	400					80	20	900	
計	200	*100		600	600	200				80	20	1800	
共通テスト	200	*50		300	300	250						1100	
個別学力検査等							100			90	10	200	
計	200	*50		300	300	250	100			90	10	1300	

【 教科・科目名の表記方法について 】

(1) 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略してある。

教 科 名		科 目 名							
略 称	正式な教科名	略 称	正式な科目名	略 称	正式な科目名	略 称	正式な科目名	略 称	正式な科目名
国	国語	国	国語						
地歴	地理歴史	世A	世界史A	世B	世界史B	日A	日本史A	日B	日本史B
公民	公民	現社	現代社会	倫	倫理	政経	政治・経済	倫・政経	倫理, 政治・経済
数	数学	数Ⅰ	数学Ⅰ	数Ⅰ・数A	数学Ⅰ・数学A	数Ⅱ	数学Ⅱ	数Ⅱ・数B	数学Ⅱ・数学B
		簿	簿記・会計	情報	情報関係基礎				
理	理科	科目名については略していない。							
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語	仏	フランス語	中	中国語
		韓	韓国語						

(2) 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記(1)によるほか次のように略してある。

科 目 名					
略 称	正式な科目名	略 称	正式な科目名	略 称	正式な科目名
数Ⅲ	数学Ⅲ	数A	数学A	数B	数学B

【 大学入学共通テストの理科について 】

教 科	グループ	出 題 科 目
理 科	①	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」
	②	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注) 「グループ」はそれぞれ独立した試験時間帯であることを示す。

上記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。

- A：理科①から2科目
- B：理科②から1科目
- C：理科①から2科目及び理科②から1科目
- D：理科②から2科目

なお、受験する科目の選択方法については、大学入学共通テストの出願時に申し出ることになる。

【「学力検査の実施教科・科目等及び配点」に関する注意事項について】

i. 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」欄

- 地歴・公民及び「基礎を付していない」理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする
 - (注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
 - (注2) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
 - (注3) 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
 - (注4) 理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合
 - ①「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。
 - ②「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
 - (注5) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。(多文化社会学部)
 - (注6) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。(教育学部)
 - (注7) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。(教育学部)
 - (注8) 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目以上選択すること。(教育学部)
 - (注9) 学部が指定したパターン（【a】又は【b】）で高得点となるパターンを採用する。(経済学部)

ii. 「個別学力検査等」欄

- 個別学力検査等において複数教科、科目、科目群等から選択する場合は、出願の際に届け出ること。
 - (注10) 国語、地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目)、数学及び理科(物理, 化学, 生物, 地学から1科目)の4教科から1教科を選択(ただし、地歴・公民は1教科とみなす。)。複数教科を受験することもできるが、数学と地歴・公民、理科と国語の組合せで受験することはできない。複数教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する(出願後の選択・変更は不可)。(教育学部)
 - (注11) 国語、地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目)及び外国語の3教科から1教科を選択(ただし、地歴・公民は1教科とみなす。)。複数教科を受験することもできる。複数教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する(出願後の選択・変更は不可)。なお、地歴・公民の世B, 日B, 地理B, 倫・政経の各科目には、一部、共通論述問題を含む。(教育学部)
 - (注12) 数学及び理科(物理, 化学, 生物, 地学から1科目)の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する(出願後の選択・変更は不可)。(教育学部)
 - (注13) 数学及び外国語の2教科から1教科を選択する(2教科とも受験することは不可)。(教育学部)
 - (注14) 数学及び理科(物理, 化学, 生物から1科目)の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する(出願後の選択・変更は不可)。(歯学部)
 - (注15) 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学から1科目)及び外国語から2教科選択。3教科を受験することもできる。3教科を受験している場合は、高得点の2教科を採用する(出願後の選択・変更は不可)。(環境科学部)

iii. 「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄

- 大学入学共通テストの配点は、配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。ただし、外国語(英語)はリーディング(160点満点)とリスニング(40点満点)の4:1の比率に変更し、その合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。なお、リスニング免除者においては、リーディング(100点満点)を2倍したものを外国語の得点とし、各学部の配点に換算する。
- 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。
 - (注16) 配点aは、理科(100点満点)及び外国語(200点満点)のそれぞれの得点を0.5倍し、配点bは、地歴・公民(100点満点)及び外国語(200点満点)のそれぞれの得点を0.5倍する。配点a又は配点bで高得点となる配点を採用する。(経済学部)
 - (注17) 面接は点数化せず段階評価を行い、評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。(歯学部)
 - (注18) 出願時に、個別学力検査等に比べ共通テストの配点を高く設定したa方式(共通テスト重視型)又は共通テストに比べ個別学力検査等の配点を高く設定したb方式(個別学力検査等重視型)を選択する。(工学部)

13. 個別学力検査の出題範囲

本学が実施する検査科目の出題範囲等については、次のとおりとする。

教科・科目	出題範囲
数 学	学部・学科等が指定する4科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B（数列・ベクトル）」）又は5科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B（数列・ベクトル）」）を出題範囲とする。 ただし、情報データ科学部は、出題範囲に「数B（確率分布と統計的な推測）」を加え、選択問題として出題する。
物 理	「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。
化 学	「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。
生 物	「生物基礎」及び「生物」の全てを出題範囲とする。
地 学	「地学基礎」及び「地学」の全てを出題範囲とする。
英 語	学部・学科等が指定する3科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」）又は5科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」）を出題範囲とする。 リスニングテストは実施しない。

14. 個別学力検査等における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース実技系の志願者に対し、以下の実技検査を行う。

実技検査（体育）

「陸上競技」、「器械運動」、「球技」の3領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動		受 験 方 法
陸 上 競 技		全員が受験すること。
器 械 運 動		全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー	①～③の3種目から、2種目選択し、受験すること。

注1) 運動のできる服装を用意すること。

2) 専門の用具を使用してもよい。

3) 運動靴は、屋内用と屋外用を用意すること。

15. 前期日程の試験日時及び試験場

(1) 前期日程の試験日時

① 令和5年2月25日 (土)

学 部 等		教 科 ・ 科 目 等 及 び 時 間									
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
多文化 社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース		外国語 9:20～11:00			批判的・論理的思考力テスト (総合問題) 12:30～15:00					
	オランダ特別コース		外国語 9:20～11:00			批判的・論理的思考力テスト (総合問題) 12:30～15:00			面接 16:00～18:30予定		
教 育 学 部	小学校教育コース		外国語 9:20～11:00			数学又は 地歴・公民 12:30～13:50			国語又は 理科 15:30～16:50		
	中 学 校 教 育 コ ー ス	文 系		外国語 9:20～11:00		地歴・公民 12:30～14:10			国 語 15:30～17:10		
		理 系		外国語 9:20～11:00		数 学 12:30～14:30			理 科 15:30～16:50		
		実 技 系		外国語 9:20～11:00		数 学 12:30～13:50			実技検査(体育) 14:40～17:00予定		
	幼児教育コース		外国語 9:20～11:00			数学又は 地歴・公民 12:30～13:50			国語又は 理科 15:30～16:50		
	特別支援教育コース		外国語 9:20～11:00			数学又は 地歴・公民 12:30～13:50			国語又は 理科 15:30～16:50		
経 済 学 部			外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～13:50		PI ※			
医 学 部	医 学 科		外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～14:30			理 科 15:30～18:10		
	保 健 学 科		外国語 9:20～11:00			面接 12:30～17:00予定					
歯 学 部			外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～14:30			理 科 15:30～16:50		
薬 学 部			外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～14:30			理 科 15:30～16:50		PI ※
情報データ科学部			外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～14:30			理 科 15:30～16:50		PI ※
工 学 部			外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～14:30			理 科 15:30～16:50		PI ※
環 境 科 学 部	選抜方法A (文系受験)		外国語 9:20～11:00			PI ※					
	選抜方法B (理系受験)		外国語 9:20～11:00			数 学 12:30～13:50			理 科 15:30～16:50		PI ※
水 産 学 部				PI ※		数 学 12:30～13:50			理 科 15:30～16:50		

② 令和5年2月26日 (日)

学 部 等		教 科 ・ 科 目 等 及 び 時 間									
		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
教 育 学 部	小学校教育コース					面 接 9:00～17:30予定					
	中 学 校 教 育 コ ー ス	文 系				面 接 9:00～17:30予定					
		理 系				面 接 9:00～17:30予定					
		実技系				面 接 9:00～17:30予定					
	幼児教育コース					面 接 9:00～17:30予定					
	特別支援教育コース					面 接 9:00～17:30予定					
医 学 部 (医 学 科)						面 接 8:30～17:00予定					
歯 学 部						面 接 9:00～16:30予定					

注1) 受験者は、試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。

面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。

2) 試験開始後30分以内の遅刻者(入室者)は受験を認めるが、30分を超えた遅刻者には受験を認めない。

ただし、面接(PIを除く。)は、指定された集合時間に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。

3) 試験当日は、本学の入学試験受験票、大学入学共通テスト受験票及び健康状態確認シートを必ず持参すること。

※PI: ペーパー・インタビュー 試験時間は以下のとおり。

経済学部: 14:50～15:20 情報データ科学部及び工学部: 17:50～18:20

環境科学部(選抜方法A): 12:30～13:10 薬学部、環境科学部(選抜方法B): 17:50～18:30

水産学部: 10:20～11:00

(2) 前期日程の試験場

① 令和5年2月25日(土)

志望学部	試験場	交通機関	
多文化社会学部 教育学部 医学部 (医学科) 歯学部 薬学部 情報データ科学部 工学部 環境科学部 水産学部	① 長崎大学文教地区 (長崎市文教町1番14号)	JR 長崎駅 から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から1番系統「溝川」、「上床」、「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		JR 浦上駅 から	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「浦上駅前」から1番系統「溝川」、「上床」、「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		長崎空港 から	・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(昭和町・浦上経由)」行きで「長大東門前」下車(約45分)
経済学部	② 長崎大学片淵地区 (長崎市片淵4丁目2番1号)	JR 長崎駅 から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「蛍茶屋」行きで「諏訪神社」又は「新大工町」下車、徒歩約15分 ・バス利用(県営バス) 「長崎駅前東口」から「循環」、「立山・浜平」、「西山木場」行きで「経済学部前」下車
		長崎空港 から	・バス利用(長崎バス, 県営バス) 「長崎空港5番のりば」から「長崎方面(出島道路・長崎新地・長崎駅前経由)」行きで「中央橋」下車(約45分), 県営バス「循環」、「立山・浜平」、「西山木場」行きに乗り換えて「経済学部前」下車 ・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(昭和町・浦上経由)」行きで「長崎駅前」下車(約60分), その後は上記 JR 長崎駅からと同様
医学部 (保健学科)	④ 長崎大学坂本地区 (医歯薬学総合教育研究棟 (歯学部本館)) (長崎市坂本1丁目7番1号)	JR 長崎駅 から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車、徒歩約10分 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から8番系統「下大橋(医学部経由)」又は「三川町(本原経由)」行きで「坂本町」下車、徒歩約5分
		JR 浦上駅 から	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車、徒歩約10分
		長崎空港 から	・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(昭和町・浦上経由)」行きで「浜口町」下車(約55分), 徒歩約10分

注1) 2月24日(金) 13:00~17:00に試験場を確認しておくこと。(試験場案内略図は54ページを参照)

2) 2月24日(金) 13:00~17:00に試験場の掲示板に注意事項等を掲示するので、注意すること。

(55ページ「17. 受験に際しての注意事項」以外の注意事項等を掲示することがある。)

3) 志願者が大幅に増加した場合は、上記以外の試験場を設定することがある。

4) 医学部保健学科の試験は、医歯薬学総合教育研究棟(歯学部本館)で実施する。

(②令和5年2月26日(日)については次ページに続く。)

② 令和5年2月26日(日)

志望学部	試験場	交通機関	
歯学部	① 長崎大学文教地区	前ページ①の①に同じ	
医学部 (医学科)	③ 長崎大学坂本地区 (長崎市坂本1丁目12番4号)	JR 長崎駅前	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「原爆資料館」下車，徒歩約10分 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から8番系統「下大橋(医学部経由)」又は「三川町(本原経由)」行きで「医学部前」下車
		JR 浦上駅前	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「原爆資料館」下車，徒歩約10分
		長崎空港	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(昭和町・浦上経由)」行きで「浜口町」下車(約55分)，徒歩約10分

注1) **医学部医学科の面接は、学力試験会場(①文教地区)と異なり医学部(③坂本地区)で実施するので、必ず事前に会場を確認しておくこと。**(試験場案内略図は54ページを参照)

16. 後期日程の試験日時及び試験場

(1) 後期日程の試験日時

令和5年3月12日（日）

学 部 等		教 科 ・ 科 目 等 及 び 時 間								
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
経 済 学 部			小論文 10:00～12:00			PI ※				
薬学部	薬学科		総合問題 9:30～10:50				面接 13:00～17:00 予定			
	薬科学科		総合問題 9:30～10:50		PI ※					
情報データ科学部			数 学 9:30～11:30			PI ※				
工 学 部			総合問題 9:20～10:40		PI ※					
環 境 科 学 部			小論文 9:30～11:00				面接 13:00～17:00 予定			
水 産 学 部			総合問題 9:30～ 10:30				面接 12:00～17:00 予定			

注1)受験者は、試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。

面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。

2)試験開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、30分を超えた遅刻者には受験を認めない。

ただし、面接（PIを除く。）は、指定された集合時間に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。

3)試験当日は、本学の入学試験受験票、大学入学共通テスト受験票及び健康状態確認シートを必ず持参すること。

※ PI：ペーパー・インタビュー 試験時間は以下のとおり。

経済学部：13:30～14:00

薬学部薬科学科：11:40～12:20

情報データ科学部：13:00～13:30

工学部：11:30～12:00

(2) 後期日程の試験場

令和5年 3月12日 (日)

志望学部	試験場	交通機関	
薬学部 情報データ科学部 工学部 環境科学部 水産学部	1 長崎大学文教地区 (長崎市文教町1番14号)	J R 長崎駅 か ら	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「長崎駅前」から1番系統「溝川」、「上床」、「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		J R 浦上駅 か ら	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用(長崎バス) 「浦上駅前」から1番系統「溝川」、「上床」、「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		長崎空港 か ら	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(昭和町・浦上経由)」行きで「長大東門前」下車(約45分)
経済学部	2 長崎大学片淵地区 (長崎市片淵4丁目2番1号)	J R 長崎駅 か ら	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 「長崎駅前」から「蛍茶屋」行きで「諏訪神社」又は「新大工町」下車, 徒歩約15分 ・バス利用(県営バス) 「長崎駅前東口」から「循環」、「立山・浜平」、「西山木場」行きで「経済学部前」下車
		長崎空港 か ら	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用(長崎バス, 県営バス) 「長崎空港5番のりば」から「長崎方面(出島道路・長崎新地・長崎駅前経由)」行きで「中央橋」下車(約45分), 県営バス「循環」、「立山・浜平」、「西山木場」行きに乗り換えて「経済学部前」下車 ・バス利用(県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面(昭和町・浦上経由)」行きで「長崎駅前」下車(約60分), その後は上記 JR 長崎駅からと同様

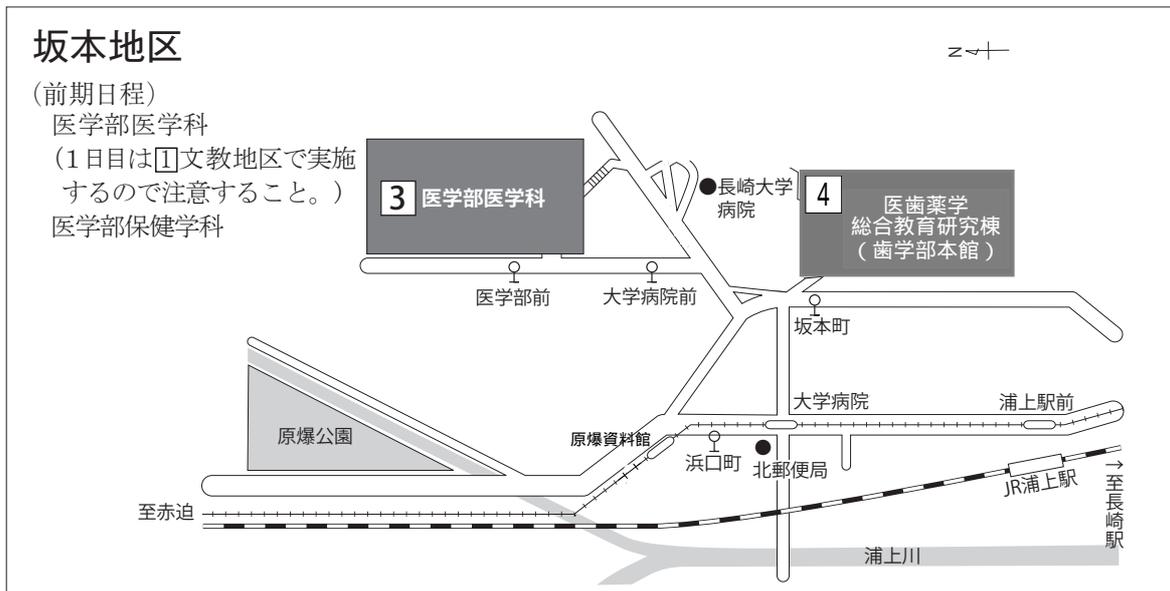
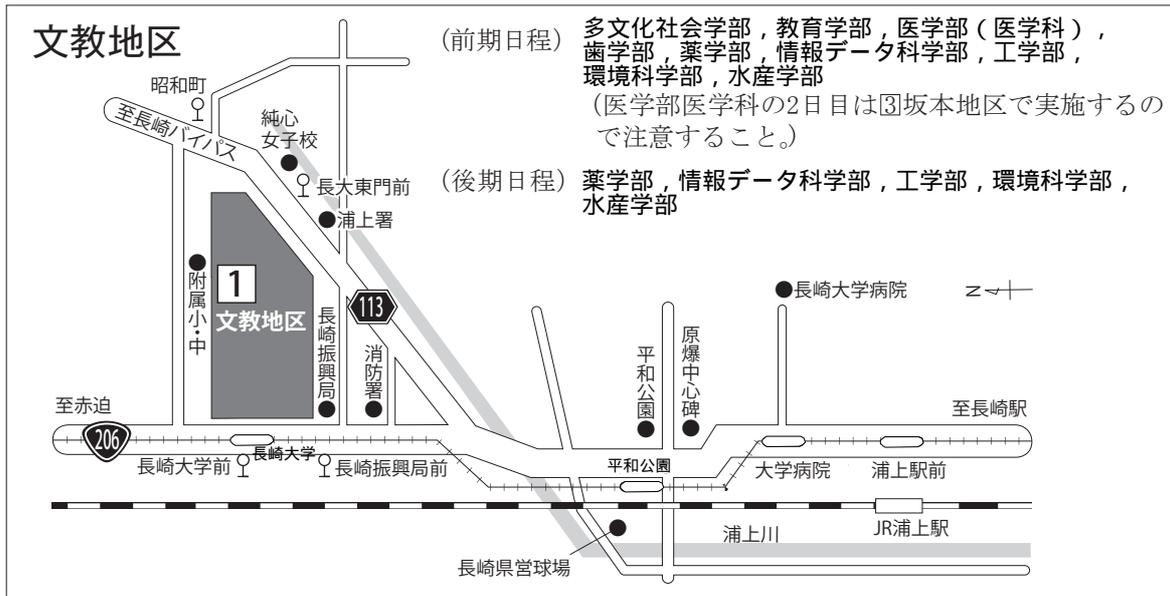
注1) **3月11日(土) 13:00~17:00に試験場を確認しておくこと。**(試験場案内略図は54ページを参照)

2) **3月11日(土) 13:00~17:00に試験場の掲示板上に注意事項等を掲示するので、注意すること。**

(55ページ「17. 受験に際しての注意事項」以外の注意事項等を掲示することがある。)

3) 志願者が大幅に増加した場合は、上記以外の試験場を設定することがある。

* 各試験場の案内略図



医学部保健学科の試験は、医歯薬学総合教育研究棟(歯学部本館)で実施する。

17. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験前日の午後(13時～17時)に試験室を確認すること(ただし、試験室への入室はできない)。詳細については、受験票印刷開始日以降に本学ホームページ(受験生の入試情報サイト)に掲載することがある。
- (2) 試験当日は、長崎大学入学試験受験票(一般選抜)(出願者が各自A4サイズでカラー印刷:書き込み不可)、大学入学共通テスト受験票及び健康状態確認シート(詳細は7ページを参照)を必ず持参すること。ただし、大学入学共通テスト受験票を、他大学等に提出したことにより手元になく場合は、事前に必ず長崎大学学生支援部入試課(TEL:095-819-2111)に連絡すること。
- (3) 受験者は、試験開始の30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。面接の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。
- (4) 試験開始後30分以内の遅刻者(入室者)は受験を認めるが、試験時間の延長はない。30分を超えた遅刻者には受験を認めない。ただし、面接(ペーパー・インタビューを除く。)については、指定された集合時間に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。
- (5) 試験中は、本学の入学試験受験票及び大学入学共通テスト受験票を机に置くこと。
- (6) 机の上には、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル(シャープペンシルの芯可(ケースは不可))、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、直線定規(分度器機能付及び三角定規は不可、線引用のもののみ可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)、目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- (7) 届け出た選択教科・科目等は、入学試験受験票に記載してある。届け出た教科・科目等以外の教科・科目等を解答した場合は無効となる。
- (8) 筆記試験においては、「始め」の合図があった後、解答用紙に氏名及び受験番号を記入し、解答を始めること。
- (9) 試験室においては、監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合、不正行為となることがある。また、試験時間中に用がある時は手を挙げること。
- (10) 試験中の退室はできない。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- (11) 解答用紙を持ち帰ってはならない。
- (12) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類、時計等のアラームは設定を解除しておくこと。
- (13) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないこと。身につけていたり、手に持っている場合は、不正行為となることがある。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となる。
- (14) 不正行為を行った受験者については、それ以降の受験はできない。また、受験した試験の全ての成績は無効とする。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合がある。
- (15) 英文字等がプリントされている服等は着用しないこと。着用している場合には、脱いでもらうことがある。
- (16) 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合があるので、使用できない。
- (17) 正門付近などで勧誘や資料の配布が行われている場合があるが、本学とは一切関係がないので、注意すること。
- (18) 受験者は、気象状況・交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。
- (19) 所定の日程による試験実施が困難となるような次の①～③の不測の事態が発生した場合は、再試験を実施することがあるので、長崎大学ホームページで詳細について確認すること。
(長崎大学ホームページアドレス <https://www.nagasaki-u.ac.jp>)
 - ① 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
 - ② 試験開始後の不測の事態
 - ③ 大規模の災害等
- (20) 試験当日、受験者は、試験場内では昼食時を除き、必ず不織布マスクを着用(鼻と口の両方を確実に覆うこと。)すること。
- (21) 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止する。また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。

18. 不正行為について

- ① 次のことをすると**不正行為**となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験の全ての(教科・科目)の成績を無効とします。

- ア 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入(出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。)をすること。
- イ カンニング(試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとみなす。(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要である。)
- ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為**となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

19. 合格者発表

※ 一般選抜追試験受験者は59ページ「22. 追試験」を参照すること。

合格者の発表は、下記の日時に長崎大学ホームページ（ <https://www.nagasaki-u.ac.jp> ）に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に対しては、合格者発表日に合格通知書をレターパックプラス（対面で届けられ、受領印又は署名が必要な郵便※）で発送する。なお、不合格者への通知は行わない。

※ 不在の場合はポスト等に「不在票」が投かんされるので、担当郵便局へ再配達依頼等の連絡を必ず行うこと。

(1) 前期日程 : 令和5年3月8日(水)10時

(2) 後期日程 : 令和5年3月20日(月)10時

掲示による合格者発表は行わないので注意すること。

電話による可否についての問い合わせには一切応じない（FAX・電話等による通知も一切行わない。）。

20. 入学手続等

※ 一般選抜追試験受験者は59ページ「22. 追試験」を参照すること。

合格者は、下記により入学手続を行うこと（詳細は別途通知する。）。

なお、入学手続締切日〔前期日程 3月15日(水)・後期日程 3月26日(日)〕までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱い、これ以降の入学手続は認めない。

(1) 手続方法

手続書類は、郵送とする（詳細は、「入学手続案内」で通知する。）。

※持参による手続は行わないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって郵送すること。

(2) 手続期間

前期日程 : 合格通知書受領後から3月15日(水)16時まで(必着)

後期日程 : 合格通知書受領後から3月26日(日)16時まで(必着)

(3) 必要書類の提出

- ① 令和5年度長崎大学入学試験受験票（一般選抜）
- ② 令和5年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験票
- ③ 誓約書，保証書，その他の書類（別途送付）

(4) 納付金の納入

入 学 料 : 282,000円

注) 別途送付する「入学手続案内」に綴込んでいる振込書により、入学手続時までには振り込むこと。

既納の入学料はいかなる理由があっても返還しない。

- ※ 参考
- ① 令和4年度授業料（年額）：535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）
 - ② 授業料の納入時期は、前期分4月，後期分10月になる。
 - ③ 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
 - ④ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続き関係書類で通知する。

(5) 注意事項

- ① 一つの国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)に入学手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできない。
※公立大学協会ホームページ <https://www.kodaikyo.org/>
- ② 現在、他の大学又は短期大学等に在学中で本学に入学しようとする場合は、本学入学手続の際に当該大学等の長が発行する**退学許可書**を提出すること。
- ③ 前期日程合格者で、令和5年3月15日(水)までに入学手続を完了した者は、後期日程試験を受験していてもその合格者にはなれない。
- ④ 前期日程又は後期日程の合格を確認した者で、**下記期日までに合格通知書及び入学手続書類等が到着しない者は**、学生支援部入試課へ電話で問い合わせること。
【前期日程】令和5年3月10日(金) 【後期日程】令和5年3月22日(水)
長崎大学学生支援部入試課 TEL. 095-819-2111

21. 追加合格等

(1) 追加合格

入学辞退等により入学定員(募集人員)に欠員が生じたときは、追加合格を令和5年3月28日(火)以降に電話により通知することがあるので、不合格者であっても速やかに連絡が取れるように、また、入学の意志について回答できるようにしておくこと。
なお、連絡が取れない場合は、追加合格の資格を失うことになるので注意すること。

注1)一つの国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)に入学手続を完了した者は、本学の追加合格者の対象とはならない。

※公立大学協会ホームページ <https://www.kodaikyo.org/>

- 2) 本学の前期日程試験に係る入学辞退者は、前期日程の追加合格者の対象とはならない。
- 3) 本学の後期日程試験に係る入学辞退者は、後期日程の追加合格者の対象とはならない。

(2) 欠員補充第2次募集

追加合格による欠員補充が困難なときは、欠員補充第2次募集を行うことがある。

この募集に出願できる者は、令和5年3月23日(木)の時点でいずれの国公立大学にも合格していない者(いずれの国公立大学にも出願していない者を含む。)及び令和5年3月23日(木)の時点で国公立大学に合格していたが、この募集出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者である。また、この募集への出願は、一つの大学・学部に限られる。

なお、欠員補充第2次募集の出願後、他の国公立大学へ入学手続を行った場合においては、受験しても入学許可は得られない。

22. 追 試 験

新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由により、本試験（前期日程：令和5年2月25日（土）又は26日（日）、後期日程：令和5年3月12日（日））を受験できない者の受験機会を確保するため、以下のとおり追試験を実施する。

（1）追試験期日

区 分	学 部 等	追試験期日	備 考
前期日程・後期日程	全学部	令和5年3月22日（水） 令和5年3月23日（木）	詳細は、受験を許可する際に通知する。

注）追試験についての追試験は実施しない。

（2）追試験場

長崎大学文教地区、片淵地区又は坂本地区（詳細は、受験を許可する際に通知する。）。

（3）追試験対象者

次のいずれかに該当する事由により、本試験（前期日程*又は後期日程）を受験できない者。

*前期日程を2日間実施する学部・学科については、2日間とも受験できないか、どちらか1日を受験できない者。

- ①新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者。
- ②試験日直前に濃厚接触者*に該当するとされた者。
- ③海外から日本に入国し、入国後の待機期間中の者。
- ④試験日までに以下のア～ウの症状がある者。

ア 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある

イ 基礎疾患等により重症化しやすい受験生のうち、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある

ウ 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続いている

*濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者及び同居している者が陽性者となったものをいう。

（4）追試験の受験申請

上記の追試験対象者に該当するものは、本試験前日又は当日に追試験の受験を申請することができる。ただし、申請受付時間内に電話連絡がない者は、いかなる理由があっても追試験を受験することはできない。

申請受付時間*	（前期日程分）本試験前日（2月24日） 9：00～17：00 本試験当日（2月25日又は26日*） 9：00～17：00 （後期日程分）本試験前日（3月11日） 9：00～17：00 本試験当日（3月12日） 9：00～17：00
申請方法	<p>本人又は代理人が長崎大学学生支援部入試課へ電話をした上で、「長崎大学一般選抜追試験受験申請書」及び「長崎大学入学試験受験票」を長崎大学学生支援部入試課へ簡易書留速達にて郵送すること。</p> <p>(1) 郵送締切日：（前期日程分）3月1日（水）必着 （後期日程分）3月15日（水）必着</p> <p>(2) 「長崎大学一般選抜追試験受験申請書」は、以下のホームページからダウンロードした本学所定の用紙に記入すること。 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/</p> <p>(3) 追試験対象者の③に該当する者は「パスポートの写し（日本への入国日が分かるもの）」を提出すること。</p>

*2月26日に2月25日の追試験の受験を申請することはできない。

(5) 追試験の受験許可

申請を受理後、本学において審査を行い、電話にて追試験の受験の可否を連絡する。また、追試験の受験を許可する者に対して「追試験受験許可書」を送付する。

なお、追試験の受験許可の単位は、前期日程においては1日分又は2日分の教科・科目、後期日程においては1日分の教科・科目となる。ただし、本試験において、1つの教科・科目でも受験した者は、当該試験日は追試験の対象とならない。

また、追試験の受験を許可された場合、許可された1日分又は2日分の教科・科目の本試験を受験することはできない。

(6) 追試験の選抜方法等

追試験の選抜方法等については、36ページから48ページまでの「11. 入学者選抜方法」から「14. 個別学力検査等における実技検査の内容」までに準じる。

(7) 追試験の採点・評価基準及び合否判定基準

追試験の採点・評価基準及び合否判定基準については、65ページから69ページまでの「26. 入試情報提供（3）採点・評価基準及び（4）合否判定基準」に準じる。

(8) 追試験の合格者発表

追試験の合格者の発表は、長崎大学ホームページ (<https://www.nagasaki-u.ac.jp>) において、下記の日時に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に対しては電話連絡を行い「合格通知書」を発送する。

追試験合格者発表日時：令和5年3月26日（日）10時

(9) 追試験合格者の入学手続

追試験合格者に対して、電話にて入学の意思を確認するので、入学を希望するものは、郵送又は長崎大学学生支援部入試課窓口において下記の期日までに入学手続きを行うこと。

追試験入学手続期日：令和5年3月30日（木）16時まで

なお、入学を辞退する者は、合格通知書に同封する「入学辞退届」又は下記の内容を記載した入学辞退届（様式は任意）を追試験入学手続期日までに長崎大学学生支援部入試課へ送付すること。

- ①合格学部・学科（コース・専攻等）名
- ②長崎大学受験番号
- ③氏名
- ④辞退の理由

(10) 注意事項

- ① 一つの国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続きを行うことはできない。

ただし、国公立大学の後期日程の合格者で、その入学手続きを完了したものが、前期日程の追試験を受験し、合格者となった場合はこの限りではない。

※公立大学協会ホームページ <https://www.kodaikyo.org/>

- ② 現在、他の大学又は短期大学等に在学中で本学に入学しようとする場合は、本学入学手続の際に当該大学等の長が発行する退学許可書を提出すること。

〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学学生支援部入試課 電話 095-819-2111 FAX 095-819-2112 E-mail nyushi@ml.nagasaki-u.ac.jp
--

23. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）

多文化社会学部に入学する学生のうち希望者については、入学時から1年間、大学キャンパス外でも多文化状況に触れることを目的とした学生寮「国際学寮ホルテンシア」に入居し、外国人留学生とのルームシェアによる共同生活を行うことができる。ただし、入寮希望者が多数の場合は、希望に沿えないことがある。

学生寮の概要は、次のとおりである。

なお、防犯対策として、各ユニットの玄関にカードキー対応ドアを、各個室に暗証番号対応ドアを装備している。

寮名称	国際学寮ホルテンシア
所在地	A棟：長崎市白鳥町8-77 B棟：長崎市白鳥町8-78 (大学まで徒歩12分程度)
収容人数	135人（A棟72人・B棟63人） 1ユニット4人（外国人留学生1人を含む。）のルームシェア形式 (ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)
入居費用	寄宿料： <u>25,000円/月</u> （ただし、入学時及び在学中に寄宿料の改定が行われた場合には、改定時から新寄宿料が適用される。水道光熱費は別途自己負担） 共益費：2,500円/月（電気代及び管理運営費。追加徴収の可能性がある。） ※ 寄宿料及び共益費は原則4月及び10月に半期分（6ヵ月分）を徴収 ※ 退去時のクリーニング費用として10,000円（入居時に徴収） ※ 上記のほか、借家人賠償責任保険等の加入が必要（入居時のみ）
共用施設	集会室，駐輪場，中庭，ゴミ置き場
個室部分の設備 (洋室4.5帖)	机，椅子，電気スタンド，エアコン，ベッド（収納庫（ベッド下）及びマットレス付き），光回線インターネット，TV端子，照明，暗証番号対応ドア
ユニット内の 設備（DK8.2帖）	シャワーブース，トイレ，洗面台，システムキッチン，ダイニングセット（テーブル，椅子），冷蔵庫，食器棚，電子オーブンレンジ，洗濯乾燥機，衣類乾燥機，掃除機，炊飯器，エアコン，カードキー対応玄関ドア等
食事	食事の提供なし（各ユニットのキッチンで自炊可能）

注) 入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合がある。

詳しくは、長崎大学多文化社会学部ホームページで確認すること。

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>



障がいやセクシャリティその他の理由で入寮について相談がある場合は、以下に問い合わせること。

長崎大学学生支援センター（学生支援課生活支援班） TEL 095-819-2103

24. 長期履修制度

長期履修制度の内容及び申請に係る詳細（申請期間，申請できる学年等）は，各学部により異なるので，事前に入学を希望する学部の担当部署へ照会すること。

○長期履修制度について

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により標準修業年限では修学困難な者に対して，標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるものです。

長期履修を認められた者は，通常の標準修業年限において支払う授業料の総額を，長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものとします。

- (1) 職業を有し，就業している者
- (2) 家事，育児，介護等に従事している者
- (3) 障がいのある者
- (4) その他相当の事由があると認められる者

*各学部照会先一覧

学 部 (学 科)	電話番号	担 当 部 署	
多文化社会学部	095-819-2030	人文社会科学域事務部	北地区事務課（多文化）
教 育 学 部	095-819-2266		北地区事務課（教育）
経 済 学 部	095-820-6311		南地区事務課（経済）
医学部医学科	095-819-7010	生命医科学域・研究所事務部	学務課
医学部保健学科	095-819-7909		
歯 学 部	095-819-7613		歯学系事務室
薬 学 部	095-819-2416		薬学系事務室
情報データ科学部	095-800-4190	総合生産科学域事務部	西地区事務課（情報データ）
工 学 部	095-819-2490		西地区事務課（工学）
環 境 科 学 部	095-819-2715		東地区事務課（環境）
水 産 学 部	095-819-2796		東地区事務課（水産）

25. 個人情報 の 取 扱

(1) 個人情報の利用

- ① 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。
また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- ② 出願書類により取得された高等学校等の成績は、奨学生への推薦資料に利用する。
- ③ 出願書類により取得された高等学校等の成績及び入学試験の成績は、入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。
- ④ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- ⑤ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

(2) 個人情報に関する業務の委託について

出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、個人情報の適切な取扱いに関する契約等を締結した上で、データ登録業務を外部の事業者に委託することがある。

26. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については、62ページの「各学部照会先一覧」まで問い合わせること。

27. 入 試 情 報 提 供

(1) 個人成績

個人成績の提供については、インターネット出願時における希望の有無により提供します。
出願期間後のメール、電話等による請求は受け付けませんのでご注意願います。

- ① 請求方法
インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。
- ② 提供内容
 - (1) 大学入学共通テストの教科ごとの得点
(本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数)
 - (2) 本学が実施する学力・実技等検査の得点
 - (3) (1) + (2) の総得点及び順位
- ③ 開示期間
令和5年6月1日(木)から6月30日(金)
- ④ 開示請求者
受験者本人に限ります。
- ⑤ 開示手数料
1回の出願につき開示請求手数料600円が必要です。入学検定料と併せて支払ってください。

⑥ 閲覧方法

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）から個人成績開示システムへ進んでください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/grades/>

「氏名（フリガナ）」、「受験番号」、インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力すると閲覧できます。

開示時期は出願からかなりの期間がありますので「受験番号」及び「セキュリティコード」の管理には注意してください。

(2) 正解・解答例等

正解・解答例等（一般選抜）については、当該日程の全試験終了後、本学が指定した時期に公表する。

(3) 採点・評価基準

本要項の〔65ページ～67ページ〕に記載している。

(4) 合否判定基準

本要項の〔68ページ～69ページ〕に記載している。

(5) 出願状況等の案内

本要項の〔70ページ〕に記載している。

(6) 前年の一般選抜状況

本要項の〔71ページ〕に記載している。

(3) 採点・評価基準

[前期日程]

学部名・教科名		採点・評価基準		
共通問題	数 学	数学の基礎を理解し、応用する力を測る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。		
	理 科	物 理	物理現象に関する思考力・考察力・表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
		化 学	基礎的な学習の到達度とともに、科学的な思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
		生 物	生物学についての思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
		地 学	自然科学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
外 国 語		読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。		
全学部	調 査 書	調査書（調査書に準じるもの及び調査書の代わりに提出された書類を含む。）の各項目から、各学部のアドミッション・ポリシーに記載する求める資質等を評価する。ただし、調査書にあつては、記入担当者の主観で記入する項目の評価は行わない。		
多文化社会学部	批判的・論理的思考力テスト（総合問題）		批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。	
	面接（個人） （オランダ特別コースのみ）		複数の面接員により行う。 日本語及び英語により実施し、意欲・積極性、思考力及び語学力（英語）を評価する。	
教育学部	小学校教育コース	国 語	高等学校までの国語科（「国語総合」の範囲）の知識、読解力、思考力及び言語表現能力を評価する。	
		地歴・公民	世界史B、日本史B、地理B、倫理・政治経済のそれぞれに関する知識、考察力、記述力等を評価する。	
		面接（個人）	教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
	中学校教育コース	文 系	国 語	高等学校までの国語科（「国語総合」「現代文B」「古典B」の範囲）の知識、読解力、思考力及び言語表現能力を評価する。
			地歴・公民	世界史B、日本史B、地理B、倫理・政治経済のそれぞれに関する知識、考察力、記述力等に加え、共通論述問題に関しては理解力、論理的思考力をも評価する。
			面接（個人）	教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		理 系	面接（個人）	教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		実技系	実技検査（体育）	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能を評価する。
面接（個人）	教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。			

学部名・教科名		採点・評価基準	
教育学部	幼児教育コース	国語	高等学校までの国語科（「国語総合」の範囲）の知識，読解力，思考力及び言語表現能力を評価する。
		地歴・公民	世界史B，日本史B，地理B，倫理・政治経済のそれぞれに関する知識，考察力，記述力等を評価する。
		面接（個人）	教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	特別支援教育コース	国語	高等学校までの国語科（「国語総合」の範囲）の知識，読解力，思考力及び言語表現能力を評価する。
		地歴・公民	世界史B，日本史B，地理B，倫理・政治経済のそれぞれに関する知識，考察力，記述力等を評価する。
		面接（個人）	教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
経済学部	ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき，学習意欲，主体性，行動力等を評価する。評価は点数化する。	
医学部	医学科	面接（個人）	志願調書を参考に，以下の項目を評価する。 ①応用力（問題解決力）②意欲（積極性）③協調性 ④総合能力
	保健学科	面接（個人又はグループ）	志望動機，コミュニケーション能力等から医療技術者としての適性を判断する。評価は点数化する。
歯学部		面接（個人）	アドミッション・ポリシーに基づき，志願調書を参考に，志望動機，意欲，目的意識，コミュニケーション能力，協調性等を総合的に判断する。点数化せず，段階評価する。
薬学部	薬学科	ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から薬剤師としての適性を評価する。評価は点数化する。
	薬科学科	ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，自己表現能力，行動力等から創薬研究者・技術者としての適性を評価する。評価は点数化する。
情報データ科学部		ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき，主体性，協調性等を評価する。評価は点数化する。
工学部		ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき，主体性，協調性，実行力等を評価する。評価は点数化する。
環境科学部		ペーパー・インタビュー	環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。評価は点数化する。
水産学部		ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき，主体性，思考力，協調性，学修・研究意欲等を評価する。評価は点数化する。

〔後期日程〕

学部名・教科名		採点・評価基準	
全学部	調査書	調査書(調査書に準じるもの及び調査書の代わりに提出された書類を含む。)の各項目から、各学部のアドミッション・ポリシーに記載する求める資質等を評価する。ただし、調査書にあっては、記入担当者の主観で記入する項目の評価は行わない。	
経済学部	小論文	基礎学力、論理的思考力、コミュニケーション力等を評価する。	
	ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき、学習意欲、主体性、行動力等を評価する。評価は点数化する。	
薬学部	薬学科	総合問題	高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験であり、考察力、論理的思考力、理解力、記述力、表現力等を総合的に問う。
		面接(個人)	アドミッション・ポリシーに基づき、志望動機、意欲、将来展望、積極性、コミュニケーション能力、協調性等から薬剤師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
	薬科学科	総合問題	高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験であり、考察力、論理的思考力、理解力、記述力、表現力等を総合的に問う。
		ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき、志望動機、意欲、将来展望、積極性、自己表現能力、行動力等から創薬研究者・技術者としての適性を評価する。評価は点数化する。
情報データ科学部	数 学	高等学校の学習一般(数学)を前提とした筆記試験であり、成績を点数評価する。 ・出題範囲 5科目(「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数A」、「数B(数列・ベクトル)」)を出題範囲とする。ただし、出題範囲に「数B(確率分布と統計的な推測)」を加え、選択問題として出題する。 ・成績評価 情報データ科学部で学ぶ資質や適性を基礎学力で問う。	
	ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき、主体性、協調性等を評価する。評価は点数化する。	
工学部	総合問題	高等学校の学習一般(数学、物理、化学)を前提とした筆記試験であり、数学(基本的な計算問題を主とする)2問、物理2問、化学2問の計6問からその場で任意の4問を選択する方式とし、成績を点数評価する。 ・出題範囲 数学:数Ⅰ、数A、数Ⅱ、数B、数Ⅲ。 物理:「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。 化学:「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。 ・成績評価 工学部で学ぶ資質や適性を基礎学力で問う。	
	ペーパー・インタビュー	アドミッション・ポリシーに基づき、主体性、協調性、実行力等を評価する。評価は点数化する。	
環境科学部	小論文	基礎的学力、読解力、記述力、考察力、論理的思考力などを評価の対象とする。	
	面接(個人)	環境への関心度、意欲・積極性、思考力等から判断し評価する。評価は点数化する。	
水産学部	総合問題	高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験であり、考察力、論理的思考力、理解力、記述力、表現力等を総合的に問う。	
	面接(個人)	志望動機、学部への関心、将来展望、高校生活等についての質疑応答から、入学への関心度、学力素養について総合的に評価する。各面接員の評価を平均して点数化する。	

(4) 合否判定基準

[前期日程]

学部名		合 否 判 定 基 準
多文化社会学部		<p>(1) 大学入学共通テストの外国語の得点率が75%以上の者第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入学共通テスト(本試験)平均点(中間集計)における英語の平均点(リーディングとリスニングの平均点を長崎大学が指定する得点比率に応じて200点満点に換算)を考慮して、(1)の得点率(英語に限る。)を引き下げることがある。 なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、令和5年1月20日頃に長崎大学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。</p> <p>(3) TOEFL iBT (Home Edition を含む。) 61 点以上 (Test Date スコアに限る。), TOEIC L&R 730 点以上, TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000 点以上, 実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は英検 S-CBT) 準1級以上, IELTS 5.5 以上, GTEC(4 技能版) 1140 点以上又は TEAP 334 点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入学共通テストの外国語の得点を満点として取り扱う。よって第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(4) 大学入学共通テストと個別学力検査等の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。</p> <p>(5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(6) 批判的・論理的思考力テスト(総合問題)において、評価が著しく低い者は、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。</p> <p>(7) 面接において、評価が著しく低い者は、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。(オランダ特別コースのみ)</p>
教育学部		<p>(1) いずれのコース、系も、大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点で合否を決定する。(中学校教育コース理系における合格者の入学後に専攻する教科は、36 ページ「11. 入学者選抜方法(2) 教育学部(前期日程)」の項を参照のこと。)</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(3) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点が、原則として50%未満の者は不合格とする。</p> <p>(4) 面接の得点率が20%以下の者は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p>
経済学部		<p>(1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。</p> <p>(2) ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。</p>
医学部	医学科	<p>(1) 大学入学共通テストの得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者</p>
	保健学科	<p>(1) 大学入学共通テストの得点、個別学力検査等(外国語、面接及び調査書)の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等(外国語及び調査書)の成績にかかわらず、不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査の外国語の得点が上位の者 ②大学入学共通テストの総得点が上位の者</p>
歯学部		<p>(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等(数学又は理科、外国語(必須)の2教科、調査書)の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①大学入学共通テストの数学の得点が上位の者 ②大学入学共通テストの外国語の得点が上位の者</p>
薬学部	薬学科	<p>(1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点で決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
	薬科学科	
情報データ科学部		<p>(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の得点が上位の者 ②個別学力検査等の数学の得点が上位の者 ③大学入学共通テストの数学の得点が上位の者</p>

学部名	合 否 判 定 基 準
工 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 (合格者のコース決定方法は、37 ページ「11. 入学者選抜方法 (6) 工学部 (前・後期日程)」の項を参照のこと。) (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の得点が上位の者 ②個別学力検査等の数学の得点が上位の者 ③大学入学共通テストの数学の得点が上位の者
環 境 科 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。特定科目の成績重視は、行っていない。
水 産 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。 ただし、ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

〔後期日程〕

学部名	合 否 判 定 基 準	
経 済 学 部	(1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (3) ペーパー・インタビューの評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。	
薬 学 部	薬 学 科	(1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点で決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	薬 科 学 科	(1) 大学入学共通テストと個別学力検査等の総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
情 報 デ ー タ 科 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点が 50%以下の者は不合格とする。 (2) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は、次の順序で順位を決定する。 ①個別学力検査等の数学の得点が上位の者 ②大学入学共通テストの数学の得点が上位の者	
工 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点が 50%以下の者は不合格とする。 (2) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 (合格者のコース決定方法は、37 ページ「11. 入学者選抜方法 (6) 工学部 (前・後期日程)」の項を参照のこと。) (3) 総得点が同点の場合は、次の順序で順位を決定する。 ①総合問題の得点が上位の者 ②大学入学共通テストの数学の得点が上位の者 ③大学入学共通テストの理科の得点が上位の者	
環 境 科 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (3) 総得点の得点率が原則として 40%未満の者は不合格とする。	
水 産 学 部	(1) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。 ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テストの成績にかかわらず、不合格とすることがある。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。	

(5) 出願状況等の案内

下記のとおり出願状況等について情報を提供する。

長崎大学ホームページによる情報提供

区 分	案 内 期 間
出 願 状 況 (学部・学科等別)	令和5年1月27日(金)～
第1段階選抜状況 医学部医学科及び薬学部薬学科については、実施の有無及び実施した場合の第1段階選抜合格者の整理番号(※) 多文化社会学部については、第1段階選抜合格者の整理番号(※) ※出願登録時に発行される「N」から始まる番号【例：N123456】	令和5年2月13日(月)～ 令和5年2月15日(水) (14時以降)
追 加 合 格 状 況 (学部・学科等別) ※欠員補充第2次募集	令和5年3月28日(火)～ 令和5年3月31日(金)

* 長崎大学ホームページのURL

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/index.html>

(6) 前年の一般選抜状況

(令和4年度)

日程・学科等		募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者		
多文化社会	前期日程	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	68	143	131	85	0	72	
		オランダ特別コース	7	9	7	6	0	6	
		追試験		(申請) 1	1	1	0	1	
		小計	75	157	139	92	0	79	
	後期日程	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	10	92	17	13	0	12	
計		85	254	156	105	0	91		
教育	前期日程	小学校教育コース	71	166	132	76	2	76	
		追試験		(申請) 2	1	0	0	0	
		中学校教育コース	文系	15	48	41	15	1	15
			理系	16	26	22	16	1	16
			実技系	5	14	13	5	0	5
	幼児教育コース	10	26	23	10	0	10		
特別支援教育コース	11	28	23	11	0	11			
計		128	308	255	133	4	133		
経済	前期日程		190	346	334	206	0	187	
	後期日程		40	302	93	53	0	39	
	計		230	648	427	259	0	226	
医学	前期日程	医学科	76	380	339	76	3	76	
		追試験		(申請) 1	1	0	0	0	
		保健学科	看護学専攻	54	100	88	59	9	57
			理学療法専攻	15	44	40	16	1	16
			作業療法専攻	14	29	25	15	1	15
	計		159	630	493	166	14	164	
歯学	歯学科	前期日程	33	223	187	44	2	44	
	計		33	223	187	44	2	44	
薬学	前期日程	薬学科	28	166	149	32	0	29	
		薬科学科	21	59	54	33	0	31	
		小計	49	225	203	65	0	60	
	後期日程	薬学科	6	120	41	12	0	7	
		薬科学科	15	106	41	15	0	10	
		小計	21	266	82	27	0	17	
計		70	491	285	92	0	77		
情報科学	情報データ科学科	前期日程	70	179	170	84	0	80	
		後期日程	15	140	54	18	0	13	
	計		85	319	224	102	0	93	
工学	工学科	前期日程	a方式	160	222	201	165	0	157
		b方式	50	268	258	82	0	75	
		小計	210	490	459	247	0	232	
		後期日程	53	423	151	72	1	51	
	追試験		(申請) 1	1	0	0	0		
計		263	913	611	319	1	283		
環境科学	前期日程	選抜方法A (文系受験)	40	81	72	51	0	49	
		選抜方法B (理系受験)	40	108	97	50	0	44	
		小計	80	189	169	101	0	93	
	後期日程	選抜方法A (文系受験)	10	73	26	13	0	10	
		追試験		(申請) 1	0	0	0	0	
		選抜方法B (理系受験)	10	78	35	12	0	9	
小計	20	151	61	25	0	19			
計		100	340	230	126	0	112		
水産	水産学科	前期日程	45	114	102	59	0	58	
		後期日程	45	196	86	45	0	41	
		追試験		(申請) 2	2	0	0	0	
	計		90	317	190	104	0	99	
合計		1,243	4,443	3,058	1,450	21	1,322		

注1) 多文化社会学部(前期日程・後期日程)、医学部医学科(前期日程)、薬学部薬学科(後期日程)及び水産学部(前期日程)の志願者数は、第1段階選抜の合格者を上欄に、不合格者を下欄に表示した。

注2) 志願者には、出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による受験資格無資格者であることが判明したものは含まない。

28. パソコン必携制度のご案内

◆ はじめに

パソコン必携制度は、ICT を活用したアクティブラーニングを行うための施策の一つであり、授業の進度に応じて様々な学修体験を得ること、授業外においても授業中と同等な ICT 環境を利用できるようにすることを目的としています。また、学生生活や就職活動を見据え、所有する機器を使いこなす ICT スキル（生産性ツールの利活用、セキュリティ管理、さまざまなデバイスとの接続、クラウドの利用等）の涵養もその目的としております。

新入生の皆様には、大学へノートパソコンを持参して、ノートパソコンを利活用した様々な学修を行っていただきます。

◆ 必携パソコンについて

令和 5 年度必携パソコンの基本仕様（最低限必要な機能・性能等）は、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」に掲載しています。

なお、長崎大学では、新規にノートパソコンを購入する方向けに基本仕様を満たしたモデル（長崎大学仕様モデル）を業者より販売してもらうことを計画しています。長崎大学仕様モデルは、SSD（ソリッドステートドライブ）を採用するなど高い機能・性能を有し、落下時の破損等も担保される動産保険が付され、安心して使用することができます。

新規にパソコンを購入される方には、高い機能・性能を有し、様々な面でサポートが受けられる長崎大学仕様モデルの購入をお勧めします。ICT リテラシーの入門科目である「情報基礎」を始め、多くの授業は基本仕様を前提としています。大学入学に際し、長崎大学仕様モデル以外の機種を新規に購入される場合には、基本仕様と同等以上の機能・性能の機種の購入をお願いいたします。

令和 5 年度長崎大学仕様モデルの購入案内については、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」でお知らせする予定です。

過去年度の必携パソコンの基本仕様及び大学推奨仕様モデルについては、ICT 基盤センターホームページ「必携 PC」（※1）に掲載しておりますので、参考までにご覧ください。

http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc.html （※1）

◆ ノートパソコンを購入（準備）できない方

経済的理由により購入ができない方のために、ノートパソコンを大学より貸与します。貸与は、学費負担者の収入が一定の基準を満たす方に対して行います。

長崎大学公式ホームページの「教育・学生生活」（※2）をご覧ください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/support/free/personalcomputer/index.html> （※2）

ノートパソコン必携化に関する問い合わせ窓口

長崎大学 ICT 基盤センター・情報企画課（平日：9 時～17 時）

TEL：095-819-2221 E-MAIL：pcsupport@ml.nagasaki-u.ac.jp

29. 出願書類作成要領（前期日程・後期日程）

出願書類は、「学生募集要項」を熟読の上、次により作成すること。

1. 出願確認票

(1) 「令和 5 共通テスト成績請求票」

- ① 前期日程出願者は、「大学入学共通テスト成績請求票」のうち『令和 5 共通テスト成績請求票（前期日程用）』の裏面に糊付けし、貼り付けること。
- ② 後期日程出願者は、「大学入学共通テスト成績請求票」のうち『令和 5 共通テスト成績請求票（後期日程用）』の裏面に糊付けし、貼り付けること。

注 1) 「令和 5 共通テスト成績請求票」は、「前期日程用」と「後期日程用」では異なるので十分注意すること。

2) 出願後に「大学入学共通テスト成績請求票」の再交付を受けた者は、直ちに再交付された『令和 5 共通テスト成績請求票』を提出すること。

その場合、当初交付された『令和 5 共通テスト成績請求票』は無効となるので、絶対に使用しないこと。

(2) 「氏名」, 「性別」, 「生年月日」

氏名、性別、生年月日が正確に記載されているか確認すること。

(3) 「住所」

現住所、電話番号が正確に記載されているか確認すること。

なお、本学に出願書類を提出後、現住所を変更した場合は、早急にその旨を郵便はがきにより連絡すること。

(4) 「連絡先」

出願書類に不備があった場合及び試験実施に関する緊急の連絡を行う場合の連絡先となるため、確実に連絡のとれる連絡先が正確に記載されているか確認すること。

(5) 「志望学部」, 「志望学科」, 「志望コース」, 「志望系」等

志望する学部、学科、コース、系等の名称が記載されているか確認すること。

多文化社会学部志願者で、外国語検定試験 [TOEFL iBT(Home Edition を含む。), TOEIC L&R, TOEIC S&W, 実用英語技能検定 (英検, 英検 CBT 又は英検 S-CBT), IELTS, GTEC(4 技能版) 又は TEAP] の成績を利用する者は、利用する試験区分の名称が記載されているか確認すること。

(6) 「出願資格」

出身学校の名称、卒業（見込み）年月等が正確に記載されているか確認すること。

(7) 「個別学力検査・選択科目等」

- ① 38～47 ページ「12. 学力検査の実施教科・科目等及び配点」を参照の上、自身が選択した選択科目等が記載されているか確認すること。

教育学部の小学校教育コース、中学校教育コース文系及び理系、幼児教育コース並びに特別支援教育コースの志願者は、複数教科を受験することができるが、出願時に選択しなかった教科・科目を試験当日に選択して受験することはできないので留意すること。

歯学部志願者は、2教科を受験することができるが、出願時に選択しなかった教科・科目を試験当日に選択して受験することはできないので留意すること。

環境科学部（前期日程）選抜方法 B（理系受験）志願者は、3教科を受験することができるが、出願時に選択しなかった教科・科目を試験当日に選択して受験することはできないので留意すること。

- ② この選択教科・科目等は、『入学試験受験票』にも記載されるので確認すること。

(8) 「大学入学共通テスト受験教科・科目」

本学の学部・学科等が指定した大学入学共通テストの教科・科目を1科目でも受験していない場合は、個別学力検査等（2次試験）を受験できないので注意すること。

75 ページ「大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（前期日程）」及び76 ページ「大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（後期日程）」で、志望する学部・学科等が指定した大学入学共通テストの教科・科目を全て受験しているか、「令和5年度大学入学共通テスト受験教科・科目チェック表」に○を付け、十分確認すること。

2. 活動報告書（調査書が提出できない志願者のみ）

- (1) ボールペン（黒）による自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。
- (2) 数字については、算用数字を用いること。
- (3) ※欄は記入しないこと。

3. 志願調書（医学部医学科及び歯学部のみ）

- (1) ボールペン（黒）による自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。
- (2) 数字については、算用数字を用いること。
- (3) ※欄は記入しないこと。

大学入学共通テスト指定教科・科目確認表(前期日程)

志望する学部・学科等により大学入学共通テストの指定教科・科目が異なるので、十分確認すること。
 なお、大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できないので、十分注意すること。

○印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

大学入学共通テスト 教科・科目等		国語		地理歴史			公民				数学①		数学②			理科①				理科②			外国語								
		国語	世界史A	日本史A	地理歴史A	世界史B	日本史B	地理歴史B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	情報関係基礎	簿記・会計	地学基礎	化学基礎	生物基礎	物理基礎	地学	化学	生物	物理	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
多文化社会学部	多文化社会学科	○			1選択							1選択(注1)						1選択(注1)									1選択				
教育学部	小学校教育コース	○	1又は2選択(注2)(注3)							1選択					1又は2選択(注2)				1選択												
	中学校 コース 教育	文系	2選択(注3)(注4)							1選択					1選択				1選択												
		理系	○	1選択							○	○				2選択				1選択											
		実技系	○	1又は2選択(注2)(注3)							1選択	1選択				1又は2選択(注2)				1選択											
	幼児教育コース	○	1選択							1選択					1選択				1選択												
	特別支援教育コース	○	1又は2選択(注2)(注3)							1選択					1又は2選択(注2)				1選択												
経済学部 (注5)	総合経済学科	[a]	2選択(注3)							○	1選択					1選択				1選択											
		[b]	1選択							○	1選択					2選択		1選択													
医学部	医学科	○	1選択							○	○				2選択				1選択												
	保健学科	○	1選択							1選択	1選択				(注6)				1選択												
歯学部	歯学科	○	1選択							○	○				2選択				1選択												
薬学部	薬学科	○	1選択							○	○				○	1選択		1選択													
	薬科学科	○	1選択							○	○				○	1選択		1選択													
情報データ科学部	情報データ科学科	○	1選択							○	○				2選択		○														
工学部	工学科	○	1選択							○	○				2選択		1選択														
環境科学部	環境科学科	選抜方法A(文系)	1選択							1選択	1選択				1選択				1選択												
		選抜方法B(理系)	1選択							○	1選択				1選択				1選択												
水産学部	水産学科	○	1選択							○	○				2選択(注7)				1選択												

※基礎を付した理科の科目については、2科目選択で1科目とみなす。

- 注1) 数学及び理科から1科目選択となる。
 2) 地理歴史・公民から2科目及び理科から1科目選択、又は地理歴史・公民から1科目及び理科から2科目選択の合計3科目選択となる。
 3) 地理歴史・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
 4) 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目以上選択すること。
 5) 【a】又は【b】を選択する。
 6) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目選択又は「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択
 7) 理科で基礎を付した科目と基礎を付していない科目を選択する際に、同一名称(「物理基礎」と「物理」等)を含む科目の組合せを選択することはできない。

令和5年度大学入学共通テスト受験教科・科目チェック表

(受験した教科・科目全てに○印を付けて確認すること。)

大学入学共通テスト 教科・科目等		国語		地歴			公民				数学①		数学②			理科①				理科②			外国語								
		国語	世界史A	日本史A	地理歴史A	世界史B	日本史B	地理歴史B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	情報関係基礎	簿記・会計	地学基礎	化学基礎	生物基礎	物理基礎	地学	化学	生物	物理	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
受験した科目																															

大学入学共通テスト指定教科・科目確認表(後期日程)

志望する学部・学科等により大学入学共通テストの指定教科・科目が異なるので、十分確認すること。
 なお、大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できないので、十分注意すること。

○印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

大学入学共通テスト 教科・科目等		地理歴史						公民			数学①		数学②				理科①				理科②				外国語						
		国語	世史A	日史A	地理A	世史B	日史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	情報関係基礎	簿記・会計	地学基礎	化学基礎	生物基礎	物理学基礎	地学	化学	生物	物理学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
経済学部	総合経済学科	○	1選択									○	1選択				1選択				1選択										
薬学部	薬学科											○		○									○		1選択	1選択					
	薬科学科											○		○									○		1選択	1選択					
情報データ科学部	情報データ科学科											○		○									2選択			○					
工学部	工学科	○			1選択							○		○										○		○	1選択				
環境科学部	環境科学科				2選択(注1)																						1選択				
		選抜方法A(文系)	○			2選択(注1)																						1選択			
		選抜方法B(理系)										○		1選択									2選択(注2)				1選択				
水産学部	水産学科	○			1選択							○		○										2選択(注2)			1選択				

※ 基礎を付した理科の科目については、2科目選択で1科目とみなす。

注 1) 地理歴史・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。

2) 理科で基礎を付した科目と基礎を付していない科目を選択する際に、同一名称(「物理基礎」と「物理」等)を含む科目の組合せを選択することはできない。

令和5年度大学入学共通テスト受験教科・科目チェック表 (受験した教科・科目全てに○印を付けて確認すること。)

大学入学共通テスト 教科・科目等		地理歴史						公民			数学①		数学②				理科①				理科②				外国語								
		国語	世史A	日史A	地理A	世史B	日史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	情報関係基礎	簿記・会計	地学基礎	化学基礎	生物基礎	物理学基礎	地学	化学	生物	物理学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
受験した科目																																	

氏 名	
-----	--

活動報告書

過去3年間（又は中学校卒業後）にあなたが関わった活動について、下記の項目を踏まえて自身が経験したことや考えたことを黒ボールペンで記述してください。（600字程度）

（項目）

- ・活動の内容について（主催者，時期，期間等の内容を具体的に詳しく記述してください。）
- ・活動におけるあなたの役割について
- ・活動で成し遂げることができたことや活動を行う中で最も苦勞したことについて
- ・活動があなたに与えた影響などについて

（備考）

1. あなた自身の素養を高めるものや素質を活用したものであれば，活動の内容は問いません。
2. 活動を行ったことが証明できる資料（証明書，修了証，その他その活動を行ったことを示すもの）があれば，添付してください。
3. あなたが関わった活動をリストアップするものではありません。
4. 教育学部中学校教育コース理系に出願する場合は，特に数学と理科の学習活動について記載してください。
5. 教育学部中学校教育コース実技系に出願する場合は，特に体育・スポーツ活動について記載してください。

（この欄は 200 字程度）

添付資料の有無（ 有 無 ）

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は，記入しないこと。

受 験 番 号
※

※欄は記入しないこと。

志 願 調 書

氏 名 _____ (昭和・平成 年 月 日生)

(記入上の注意事項)

1. ボールペン (黒) による自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。ワープロ不可。コピーでの提出不可
2. 志望理由は、この枠内におさめること。経歴書の記入欄が不足する場合、最終行に「別紙に続く」と記入し、本様式を更に1枚出力した上で経歴を記載し、署名後、1枚目と併せて提出すること。
3. 経歴書には、学歴・職歴・賞罰のすべての履歴を空白期間がないよう、退学・退社・予備校・自宅学習などを含めて記入すること。
4. 学歴は、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部又は高等専門学校以降の履歴を記入すること。
5. **職歴・賞罰は、必ず「なし」「あり」のいずれかにチェックを付けること。**

1. 本学科を志望する理由

2. 経歴書 (注) S: 昭和, H: 平成, R: 令和

学歴 (高等学校等以降か ら 予備校・自宅学習 などを含めて 記載す ること。)	いずれかにチェックして高校名を記載すること。
	S・H・R 年 月 <input type="checkbox"/> 卒業 (修了) 見込 <input type="checkbox"/> 卒業 (修了)
	<input type="checkbox"/> 高校卒業認定試験 (大検を含む。) 等
	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月 現在に至る。
職歴 いずれかにチェック <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	職歴がある場合は以下に詳細を記載
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月 現在に至る。
賞罰 いずれかにチェック <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	賞罰がある場合は以下に詳細を記載
	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月
長崎大学長 殿 上記の記載内容に相違ありません。なお、記載漏れ、虚偽記載が判明した場合、入学許可が取り消されても、異存ありません。 <div style="text-align: right;"> 令和 年 月 日 本人による署名 _____ </div>	

受 験 番 号
※

〔歯学部〕

※欄は記入しないこと。

志 願 調 書

氏 名 _____ (昭和・平成 年 月 日生)

(注意事項)

1. ボールペン（黒）による自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。ワープロ不可。コピーでの提出不可
2. 志望理由は、この枠内におさめること。経歴書の記入欄が不足する場合、最終行に「別紙に続く」と記入し、本様式を更に1枚出力した上で経歴を記載し、署名後、1枚目と併せて提出すること。
3. 経歴書には、高等学校、中等高等学校、特別支援学校高等部又は高等専門学校以降の学歴・職歴・賞罰のすべての履歴を空白期間がないよう、退学・退社・予備校・自宅学習などを含めて記入すること。
4. **職歴・賞罰は必ず「無」「有」のいずれかを○すること。「有」の場合は詳細を記入すること。**

1. 本学部を志望する理由

イ) 志望理由は何ですか。そう思うに至った経緯を含めて書いてください。
ロ) どのような歯科医師になりたいですか。

2. 経歴書 (注) S: 昭和, H: 平成, R: 令和

学歴 <small>(高等学校等以降から予備校・自宅学習などを含めて記載すること。)</small>	いづれかにチェックして高校名を記載すること。
	S・H・R 年 月 <input type="checkbox"/> 卒業 (修了) 見込 <input type="checkbox"/> 卒業 (修了) <input type="checkbox"/> 高校卒業認定試験 (大検を含む。) 等
	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月
職歴 <u>いづれかに○</u> <small>(無・有)</small>	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月
賞罰 <u>いづれかに○</u> <small>(無・有)</small>	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月
	S・H・R 年 月

長崎大学長 殿

上記の記載内容に相違ありません。なお、記載漏れ、虚偽記載が判明した場合、入学許可が取り消されても、異存ありません。

令和 年 月 日

本人による署名

【一般選抜に関する問い合わせ先】

長崎大学学生支援部入試課

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

☎ 095-819-2111

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/index.html>